男女貞潔之理想　會長　島田三郎

公娼廢止之主張　副會長　安部磯雄

明治四十四年八月一日創刊
大正七年十一月一日第三種郵便物認可
（大正九年九月十日印刷）
（大正九年九月十日發行）
（毎月一回十日發行）

5—761

廓清

第十巻第九號

□廓清時言……伊藤江南
□遊興稅可否論…廓清會副會長 早大教授　安部磯雄
□保健衞生と花柳病…醫學博士　田代美徳
□普選と婦人參政權…廓清會評議員　高島米峰
□婦參問題の今昔　廓清會評議員 成女高女校長　宮田脩
□不斷の修養……法學博士　山脇玄
□大本敎の眞相……文學士　中村古峽
□亞米利加と日本……圭英生
□國民生活の根本義…廓清會評議員　鵜崎庚午郎
□高女卒業を家庭へ……水津千雲
□娼妓病院手記…前某醫院看護婦　田口和子
□女子の服裝改良……山根菊子

東京　廓清會本部發行

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ライオンはみがき

科學的完成のライオン歯磨は、男子にも、御婦人にも、お子供衆にも向く一番衛生的の歯磨でございます。朝も食後も寝前も、必ずライオン歯磨をお使ひになれば、之に越した口中衛生法はございません。

東京市本所區外手町
ライオン歯磨本舗 株式會社 小林商店
支店

第十卷 The Purity 廓清 第九號

廓清時言

在外日本醜業婦の取締及現狀

在外出稼醜業婦は、世界各國に之れありと雖も、我國のそれの如く破廉恥にして多數なるはなし、蓋し之れ内に大膽無羞の堂々たる妓樓集娼の蠻制と、華々しき藝妓の散娼制度とを有する、低劣なる道德思想の産む處にして、今や我が國の醜業婦は遠く南米に馳せ亞米利加の果に及び、南洋には奴隷市場を有し、各地官憲に厭忌せられつゝあり、濠洲加奈陀及び米合衆國に於て排日の聲の熾んなるもの宜ならずとせず、在外醜業婦問題は、實に邦家の道德思想に疑惑を懷かしめ、健全なる國民の海外發展を阻害する重大なる國家の體面問題にして、同時に又可憐なる同胞を惡魔の毒手に乘ぜしめて、無告の鬼たらしむる最も悲慘なる人道問題也。即ち予は過般益富理事と共に外務省に當路を訪ふて懇談する處ありたるが、當局者は曰く、

「海外出稼醜業婦の取締に就ては當局も大に苦心する處なるが、最初に渡航免狀の下附を嚴重にして之を取締らんとしたるに、彼等は密航によりて取締を免れ、其取締の却つて罪なき良民を苦しめるに過ぎざるを知るに至りぬ。密航の取締に至りては元より嚴重に取締りつゝあれども、彼等は生命を睹して渡航し、彼の最も上陸に困難嚴密なる北米航路にすら、每船二三の密航者(醜業婦に限らず)を發見する程なれば、醜業者にして密航を企てんか、南洋方面の比較的官憲の手の屆かざる土地に於ては易々として行はれ、殆んど手の下しやうなし。況んや彼等醜業婦若くは、其の誘拐者は或は夫婦を裝ふべく、其他種々取締を免るゝ手段を講ずべきが故に、此方面の取締も亦或程度を超ゆる能はざる也。故に本省としては、目に餘る如き者あらば、其地の官憲と相談して領事館はその退去又は歸還せしむるやう訓令しつゝあり、要するにこは日本人の貞操觀念の根本に由來せるものにて、今日の有樣にて云へば日本婦人の大多數は、渡航時に於て醜業婦に非ず且つ醜業の目的に非ずとも、渡航後の事情によりては、いつ賣笑婦と變ずるやも分らざる程度の貞操觀念なるが如し、云々」

といふにありき、眞に然り。されど公娼制度を敷きて貞操の切賣を是認公許し、その營業を保護獎勵し、その奴隷飼養主をして市會議員國會議員に選擧して、如何にして日本人の貞操を高めんや。嗚

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

呼海外出稼醜業婦問題の前途も亦遼遠なる哉。以下に掲ぐる表は、即ち我が出稼醜業婦の最近現在にして、乞ふらくば眞面目なる婦人百人に對し、如何に多くの醜業婦を有するかを注目せよ。（江南）

在外日本醜業婦現在表（大正八年六月現在）

滿洲之部（但、關東洲及關東廳所管鐵道沿線附屬地は本表に含まず、次號に讓る）

所管領事館名	區域	在住內地人總人口 男	在住內地人總人口 女	在住內地人總人口 計	藝娼酌婦	女百人中醜業婦率
牛莊	營口	一、四〇九	一、三三五	二、六四四	一三〇	一五、〇
	瓦房店	八四二	六九八	一、五四〇	一九	二、八
	熊岳城	一六七	一六〇	三二七	二	一、二
	大石橋	八八〇	七四六	一、六二六	三七	四、九
	海城	二三八	二二一	四五九	一二	五、四
	錦州	九一	六一	一五二	一	一、六
	其他	四七四	三三六	八一〇	〇	〇
遼陽	遼陽	一、九七六	一、七三五	三、七一一	一三六	七、八
	鞍山	二、九一一	二、一三二	五、〇四三	一七〇	七、九
	其他	一、二三〇	七四一	一、九七一	三	〇、四
奉天	奉天	六、〇九七	四、九一六	一一、〇一三	三五一	七、一
	撫順	三、九八〇	三、二四六	七、二二六	一九〇	五、八
	其他	三、七六二	二、八六二	六、六二四	四九	一、七
	新民屯	五九	五六	一一五	五	八、九
鄭家屯	鄭家屯	一五〇	一四三	二九三	二二	一五、三
	其他	三二	二四	五六	八	三三、三
鐵嶺	鐵嶺	一、三六八	一、一三三	二、五〇一	一三五	一一、一
	開原	七三五	六八九	一、四二四	六〇	八、七
	昌圖	一五〇	一二六	二七六	〇	〇
	其他	四八三	四六五	九四八	三	〇、六
	掏鹿	一二二	九九	二二一	九	九、〇
	海龍	八〇	五六	一三六	〇	〇
長春	長春	三、六五六	二、八五四	六、五一〇	三〇二	一〇、五
	公主嶺	一、一六八	一、〇二七	二、一九五	一〇五	一〇、二
	四平街	七六六	五六九	一、三三五	四一	七、二
	其他	四三八	三〇九	七四七	三	〇、九
	農安	二二	二一	四三	七	三三、三
	ハルビン	二、七〇七	一、六四二	四、三四九	五三五	三二、五
チ、ハル	チ、ハル	一〇三	一七二	二七五	九〇	五二、三
	滿洲里	二三三	二六〇	四九三	一二六	四八、四
	黑河	七二	二三七	三〇九	一八四	七七、六
	赤峰	四三	一八	六一	〇	〇
吉林	吉林	三四八	三七〇	七一八	四四	一一、六
	其他	一五八	四一	一九九	〇	〇
安東	安東	四、〇四〇	三、六六三	七、七〇三	三一七	八、三
	其他	七二一	六〇四	一、三二五	二八	四、六
	通化	三五	一六	五一	〇	〇
間島	龍井村	二九〇	二二〇	五一〇	一九	八、六
	局子街	五五	九一	一四六	三四	三七、三
	頭道溝	四四	四七	九一	一四	二九、七
	琿春	七八	六六	一四四	一〇	一五、〇
	其他	一三四	八一	二一五	六	七、三
合計		四二、三四七	三四、一八七	七六、五三四	三、一九七	九、三

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

支那及西比利亞之部

（表中其他とあるは各其前項領事館の管轄區域とす）

區域		在住內地人總人口 男	女	計	藝娼酌婦	女百人中醜業婦率
北部支那	天津	二、五六九	一、九〇一	四、四七〇	三三〇	一三、〇
	北京	八〇〇	六〇四	一、四〇四	七五	一二、四
	山海關	八七	九一	一七八	一七	一八、六
	其他	四三	五〇	九三	一四	二八、〇
	芝罘	一五八	一九二	三五〇	三九	二〇、三
	其他	一三	一九	三二	五	二六、三
	濟南	一、一六二	九五一	二、一一三	一〇四	一〇、九
中部支那	上海	九、八六二	七、八三〇	一七、六九二	四七六	六、〇
	其他	一〇	一九	二九	〇	〇
	蘇州	四三	四二	八五	〇	〇
	杭州	四一	二四	六五	三	一三、五
	南京	八二	六四	一四六	〇	〇
	其他	八五	四八	一三三	〇	〇
	九江	六三	五〇	一一三	六	一二、〇
	其他	一五	一四	二九	〇	〇
	漢口	一、七三一	一、〇四四	二、七七五	一七九	一七、一
	其他	一一六	七二	一八八	〇	〇
	長沙	二三六	一三六	三七二	一四	一〇、二
	其他	三九	一七	五六	五	二九、四
	沙市	二五	一九	四四	〇	〇
	宜昌	三三	二六	五九	〇	〇
那	重慶	六二	二六	八八	〇	〇
	其他	三〇	九	三九	五	五五、五
	成都	一〇	一三	二三	〇	〇
南部支那	福州	二二六	一九一	四一七	三	一、五
	厦門	一八四	一五二	三三六	三	一、九
	其他	二	二	四	〇	〇
	汕頭	一一六	七五	一九一	〇	〇
	雲南	二三	一九	四一	一〇	五三、六
	廣東	二二四	一六〇	三八四	二八	一七、五
	其他	二四	一六	四〇	一〇	六二、五
合計		一八、一一三	一三、八七六	三一、九八八	一、二三六	八、八
西比利亞	浦鹽	三、一五一	二、七六四	五、九一五	四三〇	一五、五
	ニコリスク	一〇二	一三〇	二三二	〇	〇
	ラストノリエ	四	五	九	〇	〇
	ニコライフスク	一六九	一八四	三五三	七二	三九、一
	亞歴山スク	二四	一一	三五	〇	〇
	其他	一四一	〇	一四一	〇	〇
	ペトロパウロスク	四四	一一	五五	〇	〇
	イルクーツク	四〇	二四	六四	八	三三、三
	其他	二二四	二一六	四四〇	〇	〇
	ブラゴエチエンスク	一三二	二四二	三七四	二六	一〇、七
	ハバロスク	二五九	四一八	六七七	二四五	五八、六
	計	四、二九〇	四、〇〇五	八、二九五	七八一	一九、四

南亞細亞、太洋洲、亞弗利加、租借地及民政地之部（但、關東洲を除く）

區域		在住內地人總人口 男	在住內地人總人口 女	在住內地人總人口 計	藝娼酌婦	女百人中醜業婦率
英領	香港	一、〇二四	七五三	一、七七七	二七三	三五、六
暹羅	盤谷	一五九	六〇	二一九	一七	二八、三
	其他	四一	二二	六三	〇	〇
英領印度	カルカッタ	二〇七	一三〇	三三七	八三	六三、八
	蘭貢	一四〇	一九五	三三五	一一八	六〇、五
	マグイ	五〇	二六	七六	〇	〇
	其他	七三	一四五	二一八	一一三	七七、九
	孟買	二八一	二〇四	四八五	一五六	七六、四
	其他	五五	三五	九〇	二五	七一、四
海峽及北ボルネオ	新嘉坡	二、〇三七	一、〇四四	三、〇八一	二五七	二四、六
	其他	二、七四二	二、四七四	五、二一六	一、三三三	五三、四
蘭領印度	瓜哇	一、一三四	二八一	一、四一五	四四	一五、六
	スマトラ	六九二	八九九	一、五九一	三八一	四二、三
	ボルネオ	二九五	一七九	四七四	五四	三〇、一
	セレベス	二八二	七〇	三五二	一〇	一四、二
	ニウギニア	二〇七	七五	二八二	一九	二五、三
比律賓及グアム島	マニラ	一、六三三	三七四	二、〇〇七	一二二	三、二
	ダバオ	五、四〇六	二一四	五、六二〇	七〇	三二、七
	其他	一、六一四	三二六	一、九四〇	四一	一二、五
	グアム島	一五四	七七	二三一	〇	〇
太洋洲	シドニー	一三三	一九	一五二	〇	〇
	木曜島	六七四	二三	六九六	〇	〇
	ブルーム	一、四三九	四六	一、四八五	一三	二八、二
	ニウカレドニア	二、五三七	一	二、五三八	〇	〇
	其他	一、三一六	九四	一、四一〇	二	二、一
合計		二四、三一四	七、七六五	三二、〇七九	三、〇一〇	三八、七
阿弗利加	南阿聯邦	二三	三	二六	〇	〇
	東及西亞弗利加	六	一五	二一	一五	一〇〇、〇
	計	二九	一八	四七	一五	八三、三
青島地方	青島附近	一一、一二二	九、〇一六	二〇、一三八	九八五	一〇、八
	李村附近	二八一	三二六	五一七	一二	五、〇
	坊子附近	一、二二〇	九二二	二、一四二	六〇	六、五
	濟南附近	二、三七六	一、八五九	四、二三五	一五三	八、二
	計	一四、九九九	一二、一二三	二七、一二二	一、二一〇	一〇、〇
南洋群島	サイパン	七一三	二四三	九五六	〇	〇
	パラオ	一四七	三九	一八六	〇	〇
	ヤップ	七四	一一	八五	〇	〇
	トラック	二二六	四三	二六九	〇	〇
	ポナペ	一九六	二三	二一八	〇	〇
	ヤルート	七三	五	七八	〇	〇
	計	一、四二八	三六三	一、七九一	〇	〇
總計		一六、四二七	一二、四八六	二八、九一三	一、二一〇	九、六

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

合衆國及南米之部

區域		在住内地人總人口 男	女	計	藝娼酌婦	女百人中醜業婦率
合衆國	ホノルル	一三、七四二	一〇、二一七	二三、九五九	七二	〇、七
	オアフ島	一〇、四〇三	八、三九〇	一八、七九三	三	〇、三
	布哇島	一九、七四〇	一四、六九四	三四、四三四	三五	〇、二
	烏哇島	一一、五八八	八、九六七	二〇、五五五	一二	〇、一
	加哇島	八、八三三	七、七〇九	一六、五四二	一五	〇、一
	シアトル	四、七六六	二、七一八	七、四八四	〇	〇
	タコマ其他	一〇、四一五	二、八一五	一三、二三〇	〇	〇
	ポートランド其他	五、七四〇	一、八三九	七、五七九	〇	〇
	桑港其他	三七、四〇五	一六、五四八	五三、九五三	七	〇、〇
	ロスアンゼルス其他	二三、七九〇	一一、八三〇	三五、六二〇	一三九	一、九
	シカゴ附近	二、七八三	四九三	三、二七六	〇	〇
	紐育附近	三、七三五	三一八	四、〇五三	〇	〇
計		一五二、九四〇	八六、五三八	二三九、四七八	二七三	〇、三
メキシコ		一、八三六	三六二	二、一九八	〇	〇
パナマ共和國		一〇九	一七	一二六	〇	〇
計		一、九四五	三七九	二、三二四	〇	〇
智利	サンチャゴ其他	三五三	三六	三八九	〇	〇
アルゼンチン		一、二八五	二九五	一、五八〇	〇	〇
ブラジル	サンパウロ附近	一八、七八六	一二、五六三	三一、三四九	三八	〇、三
ペリウ	里馬其他	四、八八二	一、〇二八	四、九一〇	六	〇、五
ボリビア	リベラルタ其他	八二六	二五	八五一	〇	〇
計		二六、一三二	一三、九四七	四〇、〇七九	四四	〇、三
合計		一八一、〇二七	一〇〇、八六四	二八一、八八二	三一七	〇、三

以上は外務省の調査に係り、實數はなほ遙に此上に上るべきは容易に想像し得べき處なるが、試みに本表に就て之を見るも、長春チヽハル方面に於ては、婦人の總數の二割以上七八割、即ち百人中三十三人乃至七十七人は醜業婦たるの事實を示し、支那に於ては八人八分、西比利亞に於ては十九人四分、英領印度各地の七十餘人、海峽殖民地及び蘭領印度各地に於ては二十五人乃至五十餘人に及び、南亞細亞太洋洲を引纒めてなほ百人中三十八人七分の多數は醜業婦たるの偉觀？を示す。知る可し彼等が日本婦人を目しく悉く直に醜業婦と斷じ去るの必ずしも不當にあらざるを。更に最も驚く可きは南北亞東西亞弗利加に於ては、日本婦人は悉く醜業婦たり、南北亞米利加を通じてすら(加奈陀を除く)なほ千人中三人の醜業婦を見る可し。盛矣といふべきか、誰か、此の事實を見て悚然として恐れざるを得んや。

歐羅巴及び英領カナダには、表面上我が醜業婦の數字現はれ居らざるが故に茲に之を省略したり。(江南)

○生駒に遊廓設置の計畫

奈良縣下屈一の新開發展地として前途を嘱望され居れる大軌沿線生駒寶山寺前の生駒谷田は、財界不況の不景氣にも怯まず日一日殷賑の度を加へ目下停留所前より山上に亘り彼の旭閣温泉初め、料亭飲食店二百二十餘に百三十餘名の藝妓とが、日夜相當の繁昌を呈し、今や全く歡樂の巷と化しつゝあるより、同地有志等は更らに進んでその一劃に遊廓を形成し娼妓を置き、大軌電車に據りて奈良木辻、郡山洞泉寺等の遊廓に通へる遊冶郎を吸收せんとの計畫をなし、生駒土地の重役連と氣脈を通じ其筋へ運動することゝなり、幸ひ大軌重役と生駒鋼索の社長とを兼ねる鍵田忠次郎氏が政友會の重鎭にして縣下唯一の議士なるより、鍵田氏をして木田川知事を動かさんとし、同地を遊廓地に指定せしめんと奔走する處あり、先づ膝下の縣當局に運動を試みしに、木田川知事は主務省の方針が絶對に之れを許さゞるにあるを確知せるより、指定の不可を說きて容易に動かずといふ。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

遊興税の可否を論ず

郷清會副會長
早稲田大學教授　安部磯雄

□課税反對運動の不合理

先般來出したり引込めたりしてゐた東京市の遊興税も、愈愈今度課税に決したやうであるから、本號に於て此問題に就て少しく卑見を述べて見やうと思ふ。

遊興税は、金澤市が始めて取つて以來、大變成績がよいといふ處から、段々外の處でも眞似するやうになつた。これがよいか惡いかといふ問題であるが、それは姑く後に殘して、兎に角遊興税が一つの極めて有效なる税法であるといふことは疑ひない。遊興税の取り方によつては、確に大なる財源とすることが出來る。處が曩に東京市に於て之を實行しやうといふ案が起つた時には、大分遊興税を拂ふといふ側の運動があつた。市會議員なども此運動に弱つて遂に一時立消となつたのであつた。

一體關係者から斯ういふ運動をするのは、其事が既によろしくない、どうも税金を取るといふやうな時に、取られる方の人が躍起運動をするのが今迄のやり方で、そして市會議員を腐敗せしめる慣習になつてゐるのは、困つたものである。元來租税は極めて公平に考ふべきもので、若し運動して止めさせることが出來るとなれば、租税は強い者にはかける事が出來ないで、いつでも弱い反抗の出來ぬ方面に租税をかけることになる。

□所得税と地租と遺産相續税

大きく云へば今度の臨時議會の所得税の如き、有力なる方面の反對があるから、思ふ通りに所得税をかけることが出來ぬ。私共から云へば、所得税は一番公平な税の一つで、何處から見ても無理な税ではない。所得税と地租と遺産相續税の三つは、税の中で一番公平のものである。若し税の性質が負擔力に應じて取るといふことを原則とするなら、此の三つは最も理想的の税と云はなくてはならぬ。

故に私共から云へば、今度政府が出したものでは未だ飽き足らぬ。もつと取つた方がいゝのである、論より證據は英吉利でも亞米利加でも、獨逸でも佛蘭西でも、皆戰爭後一番酷く所得税を課してゐる。地租はまだ取り惡い點もあるかも知れぬ。併し遺産相續税と所得税とは一番高くしてゐる。私はこの二つは高くして織物税だの通行税だのといふものは、なるべく少くして行き度いと思ふてゐる。處が今申す通り所得

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

税も遺産相續税も、餘計に出す人が金持だから相當に反對する。だから今度の議會に於ても大分反對して値切倒されてゐるのである。世間では平氣で看過してゐるが、反抗力のある處からは取れないといふのは、之は酷いことゝ思ふ。

此の意味から云へば、遊興税に反對があるなら、益々之を取る事に成立せしめるべきだと思ふ。又遊興税其者から考へても課税の原則に適つてゐる。能力のあるものから取るのが原則なら、遊興する者から取るといふことは、あまり租税の負擔者に苦痛をかけないで納めしめることが出來るから、別に差支ないと思ふ。

□不品行是認税は不可

然るに私は近頃に至り、どうも是は甚だ面白くないと思ふ様になつた。なぜ面白くないかといふと、先づ『遊興』といふ語が日本人にどういふ風な意味に解されてゐるかといふと、遊興は決して普通の娯樂と同一ではない。娯樂なら芝居や角力の如き無邪氣なものであるが、遊興といふと我々は直に、待合とか貸座敷とかいふことを考へるから、無邪氣なものとは大に違ふ。若し遊興税を何處も彼處も取ることとなると、税としては良いかも知れぬが、丁度女郎屋や藝妓屋から税を取つて、國家が公娼制度を存立せしめてゐると同一に考へられはしないか。若し斯ういふものから税を取るといふことになると、我々の如き公娼制度に反對なものに取つては、斷然反對せなくてはならぬと思ふ。

尤も或人は遊興に税を課するのは禁止するといふことになるからよいといふ。併し寧ろ結果は明に反對で、禁止といふよりは是認することになると思ふ。又名前から云つても面白くない。少し意味を廣くして遊興といふよりは奢侈税といふ方がよいと思ふ。遊興などといふのは言葉それ自身が面白くない。私は曩に遊興税を拂ふ人達から反對のあつた時に、私は寧ろ反動的に遊興税を取つた方がいゝといふことを某雜誌に述べたこともあるが、段々考へて見ると、あまり品のよいものでないから、之はやはりやらぬ方がよい、東京市ともあらうものが遊興税などを取るのは町としても恥辱ではないか。財源はまだ外にいくらもある。若し遊興税を奢侈税とするなら、私は庭園税などを取つた方がよいと思ふ。奢侈税は脱税をするが、庭園税はちやんと分つてゐるから脱税が出來ぬ。考へれば財源は幾つてもある。何を苦しんでこんな品の惡いものを徴する必要があらう。速に其の中止を祈る次第である。

「酒保」の名稱廢止運動

從來陸軍では各兵營内の物貨販賣所の名稱を「酒保」と唱えて來た。一寸不用意のうちに聽くと、全然酒賣場のやうに聽き取れて甚だ具合が惡いばかりでなく事實酒呑童子が蟠居して弱い新兵を苛めて泣かす場合も少なくはない。何れの方面から見ても甚だ面白くない。今度我が廓清會評議員安藤太郎氏を會長として組織されて居る日本禁酒同盟會では、酒類の販賣禁止と名稱改正方を陸海軍當局に對し請願したといふ事である。切に其成功を祈る。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

保健衛生と花柳病（下）

醫學博士 田代美徳

——花柳病の源は男か將た女か
勿論女ばかりの罪ではない——

此事は一昨年の議會に、我々團體から取締方法を設けて貰ひたい、花柳病の取締に關する事は何時も婦人のみを取締つて男子は取締らぬのである、婦人を嚴重に取締ると云ふ事は花柳病豫防の第一義と云ふ事のやうに從來政府に於ても考へて居つたし、又一般に醫者の態度も安全なるものであると云ふやうに考へて居つたのである。

併ながら花柳病の蔓延と云ふものは婦人が源であるか、どうであるか分らぬのである、婦人から受けた男子が花柳病を播き散らすと云ふ事に就ては、之を取締らなければならぬ、幷う云ふ花柳病を播き散らす婦人があるので婦人のみを取締つて男子を取締らぬと云ふ事は不合理な事て、何時迄經つても同じ事を繰り返すのみであつて其目的は達する事は出來ぬのである、如何に婦人が壯健であつても男子の不攝生から病を傳染さすと云ふ事になるのである。

——政府も考へて居るであらう
社會も醒めねばならぬ——

此有毒の男子をどうか取締りたいもので、そを取締らぬならば花柳病と云ふものは國民一般の男から驅逐する事は出來ぬのである、其をするのには始めから之を警戒すると云ふ事が必要で、其に就ては政府も是が對策を考へて居るのであらう、男子の取締法が實際法律なり或は何か警察法なりで實施されると云ふ事に就ては恐らく其筋に於ても考慮中であらう、けれども一昨年の暮有毒男子の取締法を議會に請願した其の所以のものは尠くとも聲を大にして一般の社會の青年男子に向つて花柳病を家庭内に持込んで呉れないやうに仕度いと云ふのである。

若しも已むを得ずして男子が花柳病に罹つたならば是を當人丈けに止めるやうにして道德の方からも、亦醫學上の方からも講じて貰ひたい、もう本人が病氣に罹つて仕舞つてから何ぜ罹つたかと云つた所で仕方のない話であるから、罹つた以上は其害毒を本人丈けに止めて、家庭内には其を蔓延さすと云ふやうな事は仕度ない、若し其れを肯せざる男子を取締ると云ふ事は必要なる事である、此花柳病の豫防は法律規則を以て取締ると同時に最も大切なる人々に花柳病の恐る可き事を知らしめて花柳病に罹らぬやうにして貰はなければならぬ、若しも花柳病に罹つたならば適當なる醫者の診療を受け

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

るやうにすれば家庭内に花柳病を傳播せずに濟むのである。

有毒男子の取締法と云ふものを議會に提出したのは其理由からである、衆議院に於ては直に採擇せられて政府に送られたそうであるが、我々は本年末の議會に有毒男子取締法を請願するか、或は建議するか何等かの形式に於て聲を大にして社會一般に向つて其主旨を述べたいのである。

——危險極まる家庭風呂と七八歳の小兒に傳染の經緯——

而して社會の不謹愼なる男子が未だ花柳病の直らぬ内に結婚する、さうすると前述の如く獨り妻に病を傳染さす而已ならず小兒に其害を及ぼすのである。

其れに就て衛生局に於て保險調査會が出來て居るが其報告書に依れば或縣等に於ては女の兒の方は七八歳位で花柳病に罹つて居る、七、八歳から十四、五歳迄の少女の方が多い、男子は十五歳以下では殆ど無い重に二十歳以上である、先づ十五、六歳邊りで罹つて居る者はすくない、花柳病は歳の行かぬ者に反て多いのである。

家庭内で能く見る例であるが七、八歳の女兒が病に侵されて下り物がする御爺さんか親父に尋ねて見ると分つて來る、家庭内の風呂に這入つて傳染する場合がある（共同風呂に這入つてはどうだか分らぬ）家庭内の風呂は最も危險である何故かと云ふと先づ親父がさきに這入る爲に小さい娘が其病毒を受けると云ふ次第である、是れは極めて憐れな事であつて、私は六、七歳の小兒に花柳病を家庭内で傳染する著名なる者であると思ふのである、黴毒の方は男にも女にもあるが、男の方は痳病が浴槽内で傳染すると云ふ事はない其れは男の方には保護機關が出來て居るけれども女の方は保護の機關が無い爲めに遂に病に罹ると云ふ事になる、之れは極めて憐れである。

大抵七、八歳で花柳病があると云ふ事は醫者丈は知つて居るが多くは知らないで大抵治つて仕舞ふのである、七、八歳の娘にはそう深く病毒が浸入しないで極く前の方だけであるから危險は比較的尠いのである、永い間下り物がするので隨分憐れである、斯如き次第であるから、男子が花柳病に罹れば單に妻女を犯す而已ならず、自分の小兒に害毒を及ぼすと云ふ事になるのであるから、家庭内に花柳病を蔓延せしめると云ふ事は男子の罪であるから僅に注意さへすれば家庭内に花柳病を輸入せずにすむのである。

——花柳病の傳染豫防法と此れに對して作つた私案——

是は青年男子も既婚男子の方も花柳病に注意して絕對に家庭内に花柳病の蔓延を豫防すると云ふ事は最も必要である。以上花柳病の害毒の道は僅かに花柳病の豫防を怠る事に依つて生ずるので確實なる豫防法が無いのであるから、一つ一つ例を擧げて述べる迄も無いのである。私は最後に花柳病に罹つた男子の取締の方法に就て私案を作つて居る。即ち、

一、生殖器に花柳病を有する男子は性交を禁ず犯す者は科料に處す

一、前條は對手方の告訴を待ちて論ず

一、密賣淫者檢擧の際は其對手たる男子の身體檢査を行

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

ひ生殖器に花柳病を發見したる時は科料に處す
（此の條項に依つて大に男子が品行を愼む事に成るであらう）

一、結婚せんとする男子は女子に對し結婚七日前花柳病を有せざる旨の醫師の證明書を交付すべし
（黴毒痳病は僅かの間に傳染するのであるから一ケ月前に健康診斷をしても其は安心が出來ないからである）

一、妻は夫より花柳病を感染したる時は離婚を請求する事を得
夫の花柳病者たるを豫知し居り又は豫知せざるも同棲一年を經過したる時は離婚を請求する事を不得
前條に依り離婚成立したる時は女子は男子に對し終身扶助料を請求する事を得女子再婚する時は扶助料を支拂ふ事を要せず

一、中學卒業以上の男子を入學せしむる上級の學校に於ては身體檢査を行ひ花柳病を發見したる時は入學を拒絕する事を得

一、陸海軍兵卒にして花柳病ある者は除隊の期日を延長する事を得
（是は入營以前身體檢査に合格したる者にして花柳病を有せざりし者が入營する時に至りて花柳病に罹つて居る者が多い爲めに斯の如き條項に依つて壯丁の品行を謹む事となるであらうと思ふ）

一、醫師にして花柳病に罹れる男子を診斷治癒したる時は受毒の機會及び花柳病の種類を每半年に屆出べし
（是は花柳病が何位の程度迄蔓延して居るかと云ふ事はどうしても醫者の手に寄らなければ判然せぬので米國等は醫者に命令して居る、併し患者の姓名を發表すると云ふ事は多少迷惑を感ずる譯であるから、通常是は祕密にして置く事になつて居る爲めに、姓名の代りに番號を用ゆる事になつて居るのである、花柳病は祕密を保たれるものであるから受毒の機會と云ふ事は大切なる事で、如何なる場合に於て毒を受けたかと云ふ事を調べる事に依つて豫防上最も必要なる事になるのである、即ちどんな機會に花柳病に罹つたか其傳染の徑路を知る事は其豫防法をして有效ならしむる事になるのである）

以上色々の事を述べた事柄は御承知の事であるから、花柳病豫防の第一義としては諸君が花柳病のある場所に接近しないと云ふ事を充分御記憶あらん事を希望致す次第である。
そこで此花柳病の豫防は實際に於て起るペストとか虎列拉と云ふやうなものと同樣に何れの方面からも探究して其策源地を覆す事が最も必要である、以上種々述べた事柄は御承知の事であるから、花柳病豫防の第一義としては諸君が花柳病に接せぬやうにする事が第一であると云ふ事を充分御記憶ならん事を希望して演壇を降る次第である。（了）

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

普選と婦人參政權

廓清會評議員 高島米峰

□戰後の趨勢

私は世界大戰前までは婦人參政權尙早論を唱えて居た。然し、大戰中、また戰後の思想の進步と、世界に於ける婦人の地位の向上とは最早や私をして婦人參政權尙早論などを唱えしめては居らない。

一般的には普通選擧論者であり、苟くも普通選擧といふ以上、婦人參政權を度外視することは出來ない、私は普通選擧論者でもあり、また婦人參政權獲得論者でもある。

對岸のアメリカでは、大正九年一月十六日を以て全國的禁酒を斷行し、我々を刺激する事が多かつたが、最近には亦婦人參政權の批准を完了したといふ報道に接して、多大の刺激を感じさせられたのである。

□婦人問題の懸案

普通選擧は瑞西、丁抹等を始めとして、英國、伊太利、米國などの强國中でも、此れを實施して居ると、婦人參政權もニユージーランド、濠洲、フインランド、英吉利、亞米利加の諸國が之れを認めて居る。

然るに日本に於ては、未だ納稅三圓といふやうな制限選擧制を採つて居るのであつて、女子に對しては全然政談演說を聽く事の自由をさへ與へない狀態である。

近かく治安警察法第五條の撤廢されることが、實現されるまでにはなつたけれども、未だ普通選擧、婦人參政權獲得問題の前途遼遠を想はしむるのである。

□無意義な差別

乍然、禁酒も、普通選擧も婦人參政權獲得も、倶に議論の問題でなくて實行の時代である。

普通選擧の方法で考へて見ても、國など謂ふものは國民の共同生活體であるのであるから、此の共同生活體の工場、卽ち國家の發展繁榮の爲めには、國民は直接に責任を負はなければならない。亦負ふべきのが當然でなければならない。

その責任を全うするには、其れ相當の地位を與えなければならないが、其れ相當の地位といふのは、卽ち參政權を得て直接に國政に參加するといふ事である。所が現在の選擧法に依ると、納稅の多少に依つて參政權を得て居る者と、得ないものとの區別がある。年齢により、職業に依り、男女の區別に依つても種々なる差別があつて、國民の凡てが參政權を得て居らないのである。

此等の差別を撤廢することに依つて、國民の共同生活體

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

の向上、即ち國家の發展繁榮が望まれるのである。

□羊頭狗肉の普選

勿論、年齢の差別を撤廢すると言つても、未成年者に參政權を與えるのではない。凡ての差別を撤廢すると謂つても、精神喪失者や浮浪人に參政權を與えるてはない。浮浪人てなく、精神喪失者でない成年に達した男女の凡てに、參政權を與えよといふのである。

茲に一寸付け加えて於かなければならないのは、男子は二十歳で成年に達するが、女子は何歳で成年に達するといふ事は定められて居らない。民法の結婚によると、男は滿十七歳であり女は滿十五歳であるが、幵らいふ定め方も大した根據のある事ではなからう。

政治上に於ける成年と謂へば、先づ男女とも滿二十歳を以て定めて差し支へは無からうと思ふ。

ところが、今までも各政黨から普通選擧法案といふものが議會に提出せられたけれど、名こそ普通選擧であるが、然し事實は今の三圓制限選擧と五十歩百歩のものであつて、婦人にも僧侶にも敎育者にも、其の他特殊の商人にも參政權を與える樣になつて居らない。年齢も亦二十五歳といふところで制限をして居る。

斯くの如きものを普通選擧案といふのは聊か羊頭狗肉の憾みは無いと言へやうか。殊に貴族院議員は、滿二十五歳を以て有資格者と定めてあるので、衆議院が矢張り二十五歳といふことは辻褄が合はない。少なくも衆議院は滿二十歳を以て權利を生ずるものとせなければならぬと考へる。

□機會を與えよ

或は言ふかも知れぬ。「二十歳位の靑二歳が何の役に立つか」と。

成る程、二十歳位の靑年の大多數は役に立たぬかも知れぬ。然し唯の一人でも衆議院に選ばれる人があつたならば、それでよいのである。衆議院に選ばるべき素質を以て居る人と雖も機會を與へなければ選ばれることはない。萬卒は得易く一將は得難く、一人の大將を得るといふ事は、今日の人物拂底の場合殊に必要である。

英國のピットが、二十一歳で議員に選ばれ、二十四歳で總理大臣になつたといふやうな事は、之れを誰れにも需める事は、不可能だらう。

然し二十五歳、若しくは三十歳でなければ、議員になれないといふやうな制限をしておいたなら、ピットのやうな靑年があつたとしても、其の手腕を發揮する機會を得ないで、或は寶の持ち腐れといふやうな事になるかも知れない。

聖德太子は、僅か二十歳にして推古天皇の攝政となり、其の三十年間の經營は、內治に外交に宗敎に文藝に產業に、日本の文化の上に多大の貢獻を寄與せられて所謂推古時代の燦然たる文化を建設せられたのであるが、若し彼の當時年齢に制限を設けられて、攝政になるものは三十歳以下の靑年では不可いといふやうになつて居たら、聖德太子は遂ひに出る機會がなかつたかも知れない。そして推古時代の文明も起ら

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

ずに仕舞つたかも知れない。

二十歳位の青二才は、何の役にも立たないかも知れないけれど、若し役に立つものがあるならば、何時でも出られるやうな組織にしておかなければ不可い。

亦假令役に立たない青年も、今日の衆議院の樣に、泥醉者と罵詈彌次と組打ちとて、文字通りの蛙鳴蟬騷をすればよいのなら、夫れよりも二十歳位の青年を出した方がよい。

□改造の要諦

人類の半ばは女である。即ち女は世界人口の半分で、國家の半ばを占めて居る。

今や凡べての方面に亘つて、改造の事業の起りつゝある時、に女を参加せしめない事は、甚だ不合理である。女が高等の教育を受けられないと言ふやうな、社會組織は改造しなければならない。女が男と同じやうに官吏になられないといふやうな、社會組織は改造しなければならぬ。

法律の上でも、姦通が男よりも女が重いといふ刑法の第百八十三條のやうなことや、公娼といふやうな醜い事も女が参加して、始めて考えられることであると思ふ。乃ち女が共同生活體の責任者として、自分の問題は自分に解決すると云ふ樣になつて、實際の問題は行はれるのである。

治安警察法第五條撤廢は、女が騒いだのでなつた事も確にその一例ではないか。

假りに納税といふ制限を付するにしても、女で三圓の納税者が權利を與へられないといふ事も不合理だし、亦男で名前さへ書き得ないのに、三圓の納税の爲めに與へられて居るのは、女で立派な大學教育をさへ受けて居るに與へられて居らないといふ事も不合理であるし、亦男は女よりも遙かに不道徳であるといふことは、犯罪者の數でも明かであるに、亦教養に依つて女も選み出されなければならない。此の意味からも、女が参政權を得るといふ事は、尤も望ましい事でなければならない。

唯だ社會では、種々なる理屈を並べるものもあるが、夫れ等は消極的なもので、一々反駁する理由もない。唯だその中でも、女が偉くなつたら權利を與へるといふ者もあるけれど、女が偉くなるといふ事は何時であるか、夫れは、男が偉くなるのが何時であるか解らぬと同一の意味で、而して、現在偉らくない下らない男にさへ参政權が與へられて居るのであるから假令女が偉らくないとしても、偉らくない男と同樣に、女にも與へられなければならないと思ふ。

亦女に参政權を與へれば、家庭が治まらないとか、離婚が増すとか言ふものもあるが、参政權を得たからと謂つて、日本中の女が悉く代議士になる譯でもなく、一年三百六十五日毎日々々選擧がある譯でもない、衆議院にしては四年に一度の選擧である。四年に一度位選擧場に出掛けて往くといふ位の事は、夫婦の不和合とか何とかを豫想して騒ぐ程の事ではない。

婦人参政權獲得を尚早と言へば、何時まで經つても尚早である普通選擧も尚早である禁酒も尚早である。國民が實行可能ないといふならば、實行の時機は永久に見出されない事になる。機運の趣く處に隨つて、一部に反對があり、一部に何等理解を持たない者があつても、斷乎として行つたならば、夫れに依つて國民が實物的に教育せられて、幾年かの後には國民が本當に立憲政治の意義に徹底するやうになるであらう。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

婦人參政權問題の今昔

廓清會評議員
成女々學校長　宮田脩

去月十八日の電報は、テンネシー州の下院が四十九票對四十七票の差て、婦人參政權を可決したと報じて來た。

此の一擧は、米國全洲の四分の三に當る三十六州が、悉く婦人參政權を認めたことになつたのであつて、此の數は、軈て米國の憲法を改正する數に達したのであるから、爾餘の十二州がまた承認しなくても、最早や米國に於ては、婦人參政權が認められた譯であつて、來る十一月の大統領選擧には、始めて婦人もその投票權を行使して、彼等が理想の人物を選出することが可能ることゝなつたのである。

勿論その結果は、選擧後てなければ濫りに斷言し得ないけれど、一部の噂に登つて居る副大統領が、或は婦人の中から選出されるやうになるかも知れない。兎に角、米國の選擧界は、餘程趣を異にして來る筈である。

獨立戰爭に發芽

由來米國の婦人參政權問題は、獨立戰爭にその端を發して居ると言つてよからう。千七百七十四年より、千七百八十四年に至る間交へられた此の戰爭當時に於て、米國の婦人は、其の男子と倶に愛國の熱情を以て、苦辛慘膽殆んど名狀すべからざる働をしたのである。現にドータース・オブ・リバティーといふ辭が、米國婦人の歷史の上に燦然として輝いて居るが如く、當時の婦人が、獨立の運動の爲めに燃ゆるが如き熱誠と、粉骨碎身の努力を致した事は、獨立戰爭外傳の挿話として、特筆すべき事實である。

當時の米國婦人は、合衆國の憲法が始めて開らいふ次第て、千七百八十七年のフィヤデルフィヤの國民大會に、市民としての投票權を要求した。此の前に州法としては、十三州の中でコンネクチカット、デラベア、ジョルジア、メリーランド、ニューゼルシー、南北カロリナ、ペンシルバニア、ロードアイランドの九州丈けは、選擧權を與えた男子と等しい納稅資格。自由民たる權利等を持つて居る婦人には、參政權を認めて居たのである。然し殘つた他の四州は、男子にのみ限つて居たので、まだ聯邦法としては認められないのであつたから、此處に國民大會の機會に、全州の法律として制定することを要求したのであるけれど、大會は之れを拒絕して、矢張り各州の自治法に委せるといふ事になつた。

此くの如く、最初の運動は遂に成功しなかつた。然しながら自治法としては、從前の如く認められたのである。

故に續いて婦人が參政權運動をするなり、亦運動をしないまでも、獨立戰爭當時の意氣を持續して居たならば、當初の目的を貫き得たかも知れなかつたが、米國も產業の發達は他の國と等しく、男子のみの職業となつて、女子のみは家庭に引き籠つて社會と隔離することが、軈て社會的の地位を失ふといふ順序で、獨立戰爭當時の意氣は女子からも失はれ、男子からは忘れられて、時間の經過とゝも

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

に以上の九州も、他の四州に習つて參政權の圏內から、女子を除外することになつたのである。

然し何にしても出立點が以上の平等の觀念を以て、時代に貢獻した米國婦人であるから、大勢は斯くの如く變つても恒に有志の連中は、女權擴張運動を忘れずに、絕えず相當の努力は遣つて居たのである。けれど、之れは寧ろ極く少數の人人であるから、熱も餘まり高くなれない。運動も烈しくはならない。然るに、茲に米國の女權運動には、油を注ぐべき好機會が到來した。

婦人獨立宣言書

それは彼の奴隷廢止運動である。此の運動は獨り米國のみでなく、寧ろ米國はヨーロッパの影響を受けた運動であつて實際に於ては米國を動かしたのであるが、從つて南北戰爭といふ渦亂を招じた位、當時の人心を動かしたのである。が此の際、婦人界から出て此の運動の爲めに極力骨を折つた幾多の人物があつた。彼のアンクルトンスケビンを書いた、ビーチャース夫人の如き其の第一人者であるが、獨りビーチャースに止まらず幾多の人が數へられるのである。

此の運動が歐米に旺になるや、當時倫敦の此の萬國奴隷廢止の會議が開かれた。その會議に米國から婦人も參加したのである。その代表的婦人は、ルークレシヤモット、エリザベススタントン、エクザベスピースが其の代表者であるが、此等三婦人が出席したにも拘らず、當時の會議は、女子に發言權を認めなかつた。種々議論もあつたけれど、頑固に拒絕されて此れを認めるに至らなかつた。

三婦人は素より、ガリソンの如きもこれに加はつて、此の會議は大變な悶着であつたのであつた。而して、生きた奴隷を廢止するよりも、女子を開放することの急務なるを深く感じて、彼等が米國へ歸るや、ワシントンに婦人大會を開いてスタントンはモットと倶に、米國獨立の宣言書に倣つて、十八ケ條の獨人獨立宣言書を發表したのである。

極度の迫害と壓迫

此の時も大分反對は勿論、迫害誹謗罵詈凡有迫害と壓迫は、彼等の周圍に加へられたのであつた。現にスタントンの父親は、日々の新聞を見て彼の娘が發狂したのではなからうと非常に心配して、ワシントンに馳り着けた位、それ程極度までに、彼の女に痛罵を浴せかけられて居たのである。

スタントンは、亦痛罵ぐらゐであつたのであるが、此れより稍や前、奴隷廢止の際奴隷の爲めに演說して歩いたアービーケリン、アングリナグリンケンなどゝいふ婦人は、單に奴隷の爲めに從事したのであるが、夫れにもかゝはらずケリーは、狼を以て綽名されて、常に其の演說が妨害され、グリンケンは演說會堂に放火されるといふ具合で、當時の人心は假令良い事でも、女子が男子と伍して演說をするといふ事を蛇蝎の如く嫌て來たのである。

當時の光景を、女權擁護の一婦人であるルシーストーンといふ婦人は、短かい辭でその光景を寫して居る。卽ち『群衆は吠えた、新聞は罵つた、牧師は雷の如く叫んだ』と、以て如何に女が世の中に立つて、人竝みの働をすることにさへ妨げが多かつたかを想像するに難くない。

此れ等の人々に比ぶれば、スタントンの立つた時は、餘程趣を異にしてゐたと思ふが、然し中々流暢と事が運んだことてはないけれど、多數の婦人は此等の人々に耳を傾けなく

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

ても、その多數の婦人の中からは有力な婦人が出て、此等勇敢な女丈夫を援け、婦人參政權運動の機運を作つたのであつて其の後愈〻婦人は續々現はれて來た。その一人はスザン、アンソニーの如き人を數へることが出來る。

不斷の努力と曙光

アンソニーは、女權運動の奈翁と謂はれた勇敢無双の人て最初の萬國婦人大會の會長に推された人てある。千九百六年に八十六歲て遂ひに歿したが、歿する前八十三歲の時、その老軀を提げて當時伯林に開かれた「萬國婦人參政權聯盟」に出席して、會衆を動かした如き異數の人物てある。

斯くの如き人が顯はれて、益々氣勢は揚げて來たのてあるが、其の影響は軈て一方に參政權を認める州が出來て來た。即ち、ワイオミン州は千八百六十九年に、コロラード州は千八百九十三年に、コーター州は千八百九十六年に、アイダホ州は千八百九十六年といふ順序で、此れ等の諸州は參政權を認めることになつた。然し此等の諸州は率先して認めたに拘らず、他の諸州は頑として顧なかつたのてある。故に米國の女權運動は、爾來益々力を此處に注いて、不斷に戰つて來たのてある。且つ人物も段々後を續けて輩出し、アンソニーの後を繼いては、アンナシヨーの如さ屈指の人物がある。

亦現在アメリカに於ける參政權同盟會の會長に推され、且つ現在アントニー、シヨーの後繼者として、萬國婦人大會の會長を務めて居るチャプマンキャット夫人の如き人物が現はれて來た。米國婦人參政權同盟會、亦婦人投票者聯盟の如き會を始め、幾多の運動團體も出來、プログレス若くはウーマンシチースの如き機關雜誌も刊行され、二十世紀に這入つてから益々その運動は顯著になつた。

既にモンタナ州の如きランキングを州會に見るやうな事實も顯はれて來たのてある。乍然一方に斯く運動が盛になり、亦その勢力が認められて來るやうになればなるほど、他方には此れに反對の起るのも止むを得ない事てあつて、婦人參政權を米國人中にも反對の人もあるに違ひない。

候補者等のお世辭

婦人參政權運動に就いて有力な反對と見るべきものは、ルーズベルトの反對てあつた。

ルーズベルトは、怎うも此の運動に賛意を表さないのみか「女が家庭に安住しないのみか之れを亂す、女は家に安住すべきものだ」といふやうな意見を發表して居る。

アメリカの聲望の高い、力量の有る大政治家の反對は、其の意見の根底が不充分てあるとしても、その世道人心が動かされることは大てあるから、一大障害を感じたのてある。

然し如何なる壓迫も、如何なる反對をも物の數としない此れ等婦人參政權運動者等は、益々その鋒先を鋭くして最近愈々炬の如き熱を加へて運動したので、此處暫くの間に、瞬く間に勝算を見るに到つたのてある。現に今回のテンネッシー州の運動の如き、今年の六月頃から全力を此の州に向けたのであつて、前に述べたチャプマンキャットの如きは、早く此の州に行つて運動したのてある。

ところで、此の州にデモクラット黨の大統領候補者に擧げられて居るコックスの如きは、キャットに對して「私は貴女

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

が參政權承認運動の爲めに、テンネッシーに逗留して居られるといふ事を聽いて頗ぶる歡喜して居ります。恐らくテンネッシーの州會も、好意ある働をするでせうし、亦デモクラット派の者も非常に喜んで居るであらうといふ自信を以て、私に貴女の運動が深い理由を與へて被下つたと思ふ」といふやうな手紙を送つて、キャットを讃美して居る。

一方のレパブリカンの候補者のハーヂングも電報を以て「私は貴女が參政權の平等を承認させる爲めに、テンネッシーに滯在して居られる事を知つて、歡喜して居ります。若しテンネッシーに居ります人の或る者が、何ういふ意見を持つて居るだらうかと尋ねて來る者があるならば、私は貴女に御都合の善い手段を採るでせう」と、キャットを喜ばせて居たのである。

今や米國の大統領候補者は、斯くの如く婦人を度外視しては勝算の見込が無いといふ程、米國の婦人參政權運動は、本年の六月頃から明瞭になつて居たのであるから、今日テンネッシーが彼等の要求を容れて、遂ひに合衆國の憲法を改正せしむるに至つたのは、當然の歸結と言はなければならないのである。之れを千七百八十七年のフィヤデルフィヤ大會當時、更に南北戰爭當時の事情に比較して見ると、今昔の感が深い譯である。

吾國婦人運動の將來

兎に角米國の婦人は、玆に始めて人間らしい取扱ひを受ける事になつたのであるから、彼等の歡喜は想像するに難くないが、更らに此の事件を、米國の婦人に獨り祝福するのみならず世界の人道が、此れに依つて段々發達して行く階段と思へば萬國ともに喜ぶべき現象と見なければならぬと思ふ。

顧て我が國の女權運動を見れば、無論比較にはならぬ。

我が國に於ては、未だ參政權の問題に移るよりも、ずつと前に考究さるべき教育問題、職業問題等が漸く起つて來たのであるから、到底此處まで來るのには距離もあるし、從て我が國に於ては、彼等米國の婦人界の先覺者が、彼等の蒙つた苦痛、彼等の拂つた努力がまだ拂はれて居ないのであるから此處まで行くには未だ〳〵時があらうと思ふ。

然し、早晩此の問題は我が國にも起つて來るべき筈であるまた起つて來なければならぬ筈である。今日頑冥な連中は、婦人參政權の如きは言ふまでもなく、女子の爲めに高等教育の門戶を開くさへも反對する者もある。或は恁うした運動なら、事實が誤つた事のやうに考へる人があるかも知れぬ。乍然、政治を職業とする意味に於ては知らず、道德上の意味に於ては、一般に政治に參與するものとするならば、參政權の範圍に當然女子も加はるべきである。亦加へて始めて人も完成されるのである。今後大いに文化が發展されゝば一日も早くその國民の全體をして、彼等の人格を完成せしめなければならぬ。その必要上、婦人參政權の如きは承認さるべき時が來なければならぬのである。婦人參政權を認められる時期が軈て我國の文明が完成される時であると考へる。吾々は今此の米國の慶事を見ても、猶多くの我國の婦人が奮發して、人格的眞の自覺の上に立つ事を切望して止まないのである。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

不斷の修養

法學博士 山脇玄

□常に進步的生活に活き──生命をして光輝あらしめよ□

凡そ人間が光明ある生活を營まんと欲せば常に進步的の生活をせねばならない。進步的の生活を爲すには自由でなければならない。其の自由を主張するの權利は、天職を自覺したに存するのである。之れを反面から謂へば、吾人は天職を自覺して圓滿な進步發展を遂げ、以つて我が生命に光輝あらしめねばならぬといふのである。教育家は人間の成熟する時、即ち青年期の終りは廿四五歲位であつてその年齡を過ぎると假令教育を施すも其の效果が極めて少ないと云つて居る。併し之れは教師が生徒を教育する場合をいふのである。自ら教育するもの、外部からの影響に依つて動くものではなく、自己の内部から向上するものに取つては「そんな說に頓着は入らぬ。彼のヴィクトルユーゴーの如きは二十年間の流刑に克ち、妻をなくし子を失つて七十歲の老翁になつても、身體强健且つ元氣旺盛で、却つて青年時代よりも活氣と希望に充ちた作を出したではないか。

□一生を通じて修養期とし──所謂若年寄を排斥せよ□

然るに從來我が國人の間には、一種の迷信があつた。即ち學校時代若しくは少年青年の時代が修養期であつて、成年以後は別に修養を要しない。即ち卒業したものと考へる風がある、長老は常に青年に向つて、お前達は修業中だからと云つて忍耐、勤勉を強ひながら、自分自身では學問も才能も道德も凡て卒業して了つたやうな氣持ちで居る。而して忽ちにして成年時代の希望を抛打つて、自分は先づ此位の處だと早く諦めて了ふ。子供は生れる、家事は五月蠅く、到底勉强などをする餘暇がないから抔と云つて、早くも修養の念を絕ち、そんな事は後輩の仕事だとしてしまう。後輩も又た此風に感染して、早くも老成を氣取り、圓滿幸福なる家庭を作る事などを心掛ける。圓滿幸福なる家庭固より惡くはないが、人間が餘りに小さい範圍に自己を極限して滿足するのは決して望ましい事ではない學校に居る間だけ勉强して後は諦めをつけるとか、主人を持つて奉公してゐる間は一生懸命に勉めて、獨立するに至れば小さく固つて了ふといふやうでは、全く人間の後半生を見捨てるものと謂ふべきである。學校時代と實務時代とは唯だ其の勉强する事柄が違ふので勉强は同樣にせねばならない。前半生期に於ては學問に向つて努力し、後半

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

生期に於ては實務に向つて努力し、前後相通じて自己の生命に光彩あらしむる覺悟を弛めてはならぬ。一生を通じて間斷なく進まなければならない。

□カーネーギと平凡なる人の相違 ‖貧困は幸福なりといふ說□

彼の不世出の富豪カーネーギーは十二歲の春から、父親の勞働してゐる綿布工場に雇はれて勞働に服した日の出前から日沒迄その間に午餐の休憩タツタ四十分間の外はなかつた。氏が今日ある理由の一つは確に貧困にあつた、故に氏は「富は青年の禍にして、貧困は人生の幸福なり」と云つた。貧困は人を驅つて努力せしむる力である。

昔の大名の子には馬鹿者が多い。大盡の子に放蕩者が多いこれは畢竟生活の爲めに努力する必要がないといふ事が其の一原因であらう。それも高尚な理想があれば一段と高い處に向つて努力の必要を認むるからさうでもないけれど、左もない人は少しく生活が豐になれば、忽ち緊張した態度を失つて身を持ち崩すのが通例である。青年時代に於ては、他の模範とも見られた人物が、漸く金が出來るか若しくば地位が出來ると早くも漫心をして不品行を始め、我儘を行つて而して老年に至れば、心ある人から指彈されるやうな厄介爺となる例は現に少くない。

□世襲制度は社會的の ‖罪惡と見る事が可能ろ□

我國でも長子よりも次子以下に有爲の人物が輩出する例が多いが、それも長子が財産を相續する習慣があるが爲めかも知れぬ、子孫をして自志獨立の人物たらしめんと欲するものは、多額の財産を讓與する事は、考へものである。子孫に教育を受けさせる事は、親の義務であり、又た不時の用意として多少の財産の分配を爲すのは、然るべきであるがそれ以上に巨多の財物を與ふるのは子孫の獨立心を奪ふものである。一體親の作つた財産を其の子が無代價に受取るといふことは、何百年以前の祖先が手柄をしたからと云つて、其の末孫までが華族に列せられてゐると同樣に甚だ不合理の事である。社會の何處かに斯る不合理が行はれて居れば、其の社會の各個人が滿足なる生活を傷けられる譯である。依て巨萬の財産を讓與する事は、一種の社會的罪惡とも見られる。

□リンコルンの格言は氏の自ら ‖味はひたる金科玉條□

彼の石油王として其の名世界に響渡れるロックヘラーは教育事業を好むで市俄古大學を其の保護の下に置いて、既に七百萬弗といふ大金を同大學の爲めに寄附したさうであるが、彼の人の子息は鐵道の某驛で作業に服したといふ話である。勿論それは苦役の味ひを甞める爲めで勞働問題等の解決の役には立つまいが日本人には[illegible]渡出來ない藝當であらう。『艱難汝を玉にす』といふ古言は決して吾人を欺かぬ。リンコルンは自ら半生の履歴を顧みて、單調なそして貧困な暮しをして了つたと云つたが此の憐むべき貧乏な暮しの中に偉大なる力が畜積せられつゝあつたのであつた。だからリンコルンは『貧から成上つた者ほど信任すべきものはない』と云つて居る。是等は青年の大に味はふ可き格言であると思ふ。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

大本教の眞相

文學士 中村古峽

■大本教とはどんなものか——教祖出口なほの戸籍調べ——

此頃世間に喧しい大本教の眞相は何であるか、一言にして云へばいかさま師と迷信家の集まりであると云つてよい。併し之を成程と合點の行く様に説明するのは却々容易でない。平素心理學哲學方面に素養のある方なら一見して分るが、さうでないと簡單に首肯せしむることは困難である。

近來大本教は社會政治軍事の方に化けかゝつた様である。併し其元は教祖出口なほの執筆たる所謂『お筆先』なるものと、天地の祕法としてゐる鎭魂歸神法である。先づ順序として大本教の組織から調べて見ると、

教祖 出口なほ—二代 純子
教主 出口王仁三郎—三代 直靈
總裁 淺野和三郎

教祖の出口なほは、天保七年の十二月何日に、丹波福知山の桐山某の長女として生れ、いろは四十八文字がやつとしか書けぬ。二十歳の時に出口政五郎といふ大工に嫁いだが、亭主は大酒飲で家産を潰し、六十で死んだ。其時なほは五十歳て、三男五女といふ子福者であつたけれども、長男は此時既に三十歳に達してゐる譯であるが博奕打で行衞不明、十七年振りに一度歸つて又行方が知れない。次男は日清戰爭の時に軍夫になつて臺灣に渡り、戰死したのか、逃げたのか生死不明て、三男も亦やはり行衞が分らぬ。長女は隣村の博奕打に誘拐されて狂人となつて死し、三女も狂死し、其他の者も皆極道もので碌な者はなく、父親が死んだ時母親の側に居つたのは末子の純子一人てあつたが、これも餘程の低能て、京都府の取調を受けた時などぶる〳〵ふるへ

之さへ讀めば助かると云つて、一生懸命例のお筆先を讀んでゐたといふ。されば出口なほには遺傳學上から精神異常の血統があつたものと疑はざるを得ない。

■紙屑買の婆に艮の金神宿る——大本教の生ける經典お筆先——

なほが後家になつてからの生活は悲慘を極め、紙屑買や襤褸を拾つて其日を幽に送る有様であつた。斯ういふ境遇に陷つては彼としては唯神か佛に賴るより外道がなかつたのは尤もてある。彼はもう一心に信仰を始めた。すると七年目の舊の正月の元日—としてあるがそれは勿論あてにならぬ。兎も角或晩—寢がけの夢を見た。神殿の前に立つてゐる奇麗な御神體が笑を含て立つて居り、側の小さな祠には政五郎が居た。其後彼は頻々として斯ういふ夢を見たが、遂に或日發作が起り、全身ふるへ大きな聲を自發的

に發し、『我は艮の金神である、出口なほを守護するぞよ』と叫んだ。それから所謂神憑りの狀態に入り、村の人からは狂人として座敷牢に入れらるゝに至つた

すると彼女は毎日々々何か壁や疊に字の様なものを一心に書いてゐるので、試みに筆と紙を與へて書かせると、何か意味がありさうて、やつと形をしてゐる平假名ばかりの文字であるが、それが溜り溜つて大本教の生きたる經典たる『お筆先』一萬冊となつた。

■妄想性痴呆の宗敎的な表はれ‖此婆さん〳〵も定型通り呆けた■

さて大本教の基礎たるお筆先なるものは、果してそんなに難有いものであるかといふと、這麼ことは變態心理の現象として屢々あることとて、勞れた時には妄想が起る。妄想ばかりに觀念が集注して朝から晩迄それ以外に出づることが出來ない。それが嵩ずると、妄想性痴呆といふものになる。無論それは精神病の一種で、それには

妄想性痴呆〔政治的、藝術的、發明的、色情的、被害的、宗敎的〕

の如き種類がある。斷片的に立派な藝術を作る藝術的の妄想性痴呆もあれば、それが發明的方面に現はれる人もある。要するに大抵は前生活と餘り遠からざるものである。『お筆先』の中には『三千世界一度に開く梅の花、艮の金神の世になつたぞよ』といふ様なことが書いてある。之等は何れ何處かで前に聞いた事があつたに違ひない。

それから妄想性痴呆の一つの特長は、始めは何か意味のあることを書いてゐても、必ず終りは意味をなさなくなり、本人は呆けて終ふのが常型である。そこで私が綾部に行つた時にも、是非一度逢つて見たいと色々に工夫したけれども、淺野文學士は言を左右に託して逢はしてくれぬ。然るにひよつとした機會に淺野氏は『あんな呆けてしまつた婆さんに逢つてどうするんだ、會つても何も分りはしないよ』とうつかり口を辷べらした。私が行つたのが一昨年の九月で、又逢ふ時があらうと思つて其時は歸つたが、彼は十月の七日に死んだから、永劫に彼女の實際を知る折がなくなつて、愈々神祕化さるゝに至つたが、此の淺野氏の不用意な言葉によつて、彼が妄想性痴呆の常型通り呆けてゐた事實を知ることを得たのは大なる研究上の幸であつた。

■お筆先は妄想性痴呆の濫書症‖色情に表はれゝば艶文を書く■

お筆先は一萬冊もあると云つて迷信家連は驚歎してゐる。併し婆さんが艮の金神の妄想に囚はれてから、二十八年間も毎日書き通したのだから、一萬冊と云つても敢て驚くには足らぬ。けれども京都府の調べによると一萬冊ではなくて四千冊であるといふ。而も私の鑑定では其内似せが二千、眞筆が二千だと思ふ。

お筆先は半紙一枚に十二行八字詰乃至十字位の大きさで書かれ、思想は一貫して居らぬ。奇想天外と云はうか、荒唐無稽と云はうか、斯ういふ者は何處の精神病院にも一人や二人はゐる。文字のある人は其事ばかりを文字にしやうとする症状で、之を濫書症といふのであつて、又同じことを繰返し繰返し書くから常同症と又名けられてゐる。茲に私が持つて參つた記録も‖とて堆き書冊を示し‖皆悉く精神病者の手になつた中の一部を或病院から借りて來たもので、まだ此外に病院には積んで山をなしてゐる。若

し無筆の者にして宗教的妄想性痴呆であつた場合には、同じ病院の中でもすぐ信者が出來、貴樣書けと云はれて他の字の書ける精神病者が命の儘に筆を執つて書く。之を讀むとやはり常同症が現はれてゐる。或は之が字でなくて繪畫に現はるゝ場合がある。同じ樣な譯の分らぬ繪を此通り――とて又机上高く要領を得ない同じ樣な繪を書いた物を綴つたのを幾冊も見せ――澤山に書く、或は動作に表はるゝのもあり、色情的妄想性痴呆となると、何處かに情人が居る樣な氣になつて、玆に私が持つて參つたのは『涙の種をおたかひの集め草』と題したもので、此通り――とて又艶文樣のものを綴りたる冊子を示し――どれを見ても終りになると段々ぼけて來て譯が分らなくなる。

■お筆先には眞贋二通りある■
――豫言はすべて王仁三郎の僞作――

私は玆に『お筆先』の眞贋二通りのものを持つて參つた。御覽の通り――とて提供し――斯樣に雙方を對照して見ると餘程巧妙に似せてあるが、文體と用語が違ふ上、爭ひ難き書勢の相違がある。字がまづいから却々讀むのが困難であるが私は讀み方を覺えたし、婆さんの字と似せとは一見して識ることが出來る。だから決して其眞筆の方は誰にも決して見せない、眞筆として信者の間に百圓とか二百圓とかいふ金で賣買されてゐるのは似せの方であつて、私は或る祕密の理由で此のほんものを借りて參つたのであるその眞筆（實は似せ物）の中には、日清戰役當時日露戰爭を豫言し、更に今度の世界の大戰を豫言してあるといふので信者達は無上に難有がつてゐるが、一般の信者には活版摺りのお筆先を見せられるのであるから、舊い年月さへ附すれば誰だつて豫言が出來る。此の似せ物二千冊を作つたのは王仁三郎の仕事であらうといふことは、彼の京都府の調べに自白した處によつて推斷することが出來る。つまり政治經濟に關する方面は皆彼の似せてあると見て差支ないであらう。

■王仁三郎の經歷と■
――出口派の中心人物――

王仁三郎は明治七年九月、丹波の農家に生れた。學校は尋常三年を終つたばかり。主として牛乳搾りを業としてゐた。淑母が兵庫縣下で妙靈教會の行者に就てレウマチスを治したといふので、自分も習ひたいと思ひ立ち、其處で御祈禱の稽古をしたのが始まりて、上達の早かつた彼は之で愈々身を立てる積りで、更に綾部に行つておなほ婆さんに弟子入し、純子を嫁に貰ふことゝなつた。當時はまだ本名を土田喜三郎と云つて、おなほ婆さんと御祈禱をして生活をするに過ぎず、大本教などゝいふ一派を作る考へはなく金剛教に使はれてゐるに過ぎなかつた。仲間に資格のある者がないから、或時は又大社教に附屬せられたりしたが、明治三十年王仁三郎は三十一歲で京都府の皇典講習所で六ケ月間講習を受け、卒業後二三の社典をした。後再び綾部に歸つて大本教を開くに至つた。之は實に王仁三郎の手柄で、彼が神官の免狀を得たから今日あるを得たのであつた。

併し大本教が今日のまゝで進めば、將來はどうしても出口派と淺野派と分れる運命になつてゐる樣である、出口派の中心人物を擧ぐると

四方平藏　吉田龍次郎　湯淺仁齋
梅田信之　牧寬仁　豐本景介
出口慶太郎　森眞作　吉田祐定
西田元敬

の諸氏で、四方平藏といふ男は盲目てあるが、この有難い宗教に歸依してから盲目ながら見えると稱してゐるが、實際は彼は始めから少しは見える眼を持つてゐるのであつて、出口の爲めに囮になつて忠勤を勵んでゐる者てある。梅田信之は京都の或る機屋の道樂息子て、王仁三郎に救はれた事がある關係から、王仁三郎の爲めに費用を支へてゐる一人て、中には曾て殺人罪に問はれて無期懲役の刑を受け、大赦て出獄して來た男もある。また豐本景介といふ男は以前池袋の神樣が昨秋詐僞取財て懲役に入つてから、其信者てあつた秋山中將や岸醫學博士等から池袋の神樣は人物がよくなかつたが敎義は確にいゝ。何處かに同樣な宗旨があらうから探して來いといはれて、遂に大本敎に來り、中將と博士を其信者にした男てある。

■淺野派の中心人物と
——兩派ちやんぽんの政策■

けれどもまだ此頃までは大本敎は世間に重きを爲す程の勢力はなかつた。淺野文學士が入山してから知識階級の信者が翕然として綾部に集まる樣になり、內部の敎勢も大發展をなした。淺野派の中心人物を擧ぐると

淺野正恭	高木鐵男	谷口正治
岩田久三郎	谷村正友	栗原白治
井上留五郎	今井武夫	栗原白嶺
小牧斧助	湯川貫一	

の諸氏で、淺野正恭氏は海軍中將で、和三郎氏の實兄、高木氏は明治製糖の重役谷村氏は前滿鐵理事て、有力な銅山まで持つて來て寄附した。湯川氏は御大典奉祝歌の作者、岩田氏は醫師、栗原白嶺氏は實業の日本の記者てある。されば本山の役員は德川氏が譜代氏と外樣と交互にした樣に、淺野派と出口派とを互違ひに組ましてゐる。王仁三郎は素行が修まらぬので、純子を二代とし、彼は敎主補といふ事にして隱居同樣となり、娘の直靈(十六七歲)を三代といふ事にし、淺野氏が總裁て副總裁が正恭氏、會長が梅田信之氏といふ樣な具合てある。

■淺野氏入山の動機
——和三郎王仁三郎の對面■

淺野氏は明治三十一二年頃帝大英文科を出た人て、海軍機關學校の敎官て橫須賀に住し、平生アラン・ポオの樣な神祕的の文學の方面を開拓したいと考へた居た。恰度其頃氏の子供が病氣に罹り醫療を施したがどうも捗々しくなかつた。夫人は淺野氏に祕密に三峯山の行者に見て貰つた處、氣管に大豆大の腫物が出來て居る爲めてある。けれども何日頃迄には癒るから心配するに及ばぬと云はれたが、其豫言が適中したので之を淺野氏に語り淺野氏も神祕の感に打たれ、自分で今度は其行者を尋ねて見ると、二三又何か云ふた事が當つたので、愈々心靈の世界を探らうといふ考へを起してゐる矢先、飯盛といふ海軍中佐が大本敎に歸依し(此人は後に大本敎のいかさまなる事を見破つて止めた)直靈軍なる傳道隊を組織して橫須賀にやつて來た、淺野氏が三峯山の事を話すと『そんなものは兒戲に類する、一度綾部に足を入れたなら、それこそ凡て之れ驚異だよ』と云はれ、とうとう綾部に行つて見る氣になつた。

此報が綾部に傳はると、王仁三郎は雀躍して喜んだ。大本敎が大きくなればなる程、學識ある者を幹部に入れる必要を痛感して居つた際だから、彼は腕に撚りをかけて待つた。元來王仁三郎は人心を捉へるに妙を得た男である。斯くとも知

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

らぬ淺野氏が愈々綾部にやつて來て、王仁三郎と對面するや、王仁三郎は一言の挨拶もしない內、出し拔けにワハ……と笑つた。淺野氏が呆氣に取られてゐると王仁三郎は續いて淺野氏に、足下が來るのは三十年も前から分つて居た。お筆先には『東の方からみたまが來て助くるぞよ』と記されてある。そして其人の姓を淺野といふから、娘の直靈の幼名をアサノと名けて置いた。又足下の名が和三郎だから、自分は足下の名を取つて同音の王仁三郎とつけた。といふ樣な事を云はれ、淺野氏はすりかり煙に捲かれ、即座に入門を誓つて、遂に綾部に移住し、一時は自分も其名を和邇三郎と改めた程てあつたから如何に王仁三郎に籠絡されたかを推察することが出來やう。

■鎭魂歸神法とは何か——人間には憑物があるといふ■

次に彼等が天地の祕法と信ずる鎭魂歸神法に就て一言したい。彼等のいふ處によると、人間には皆それ〴〵いろんな憑き物があつて、其人に常に禍をする。だから安心立命を得るためには此の憑き物を拂つて、艮の金神に歸せしめねばならぬといふのである。

その惡魔拂ひが鎭魂歸神法で、先づ信者を拜殿に靜坐させて胸の處に兩手を組ませる。そして大本敎の神主はその神審者（憑き物を拂つて貰ふ人）と對ひ合ひに座を占める。それから何處から拾つたか五六寸位の長さの神祕的の石笛を、ピイ〳〵吹いて呪文を唱へるのであるが、その呪文は一とう、二たあ、三い、四う五つう、六ゆ、七あ、九う、十う、百う千い、萬——といふ十三の數を神代音で如何にも嵩嚴な聲を出して節をつけて繰返し々々術者と被術者と聲を合して呼ぶ斯くして神審者はこの聲で自ら無我の境に入り、胸に組んだ手が上下に動き始めてそれが段々大きく動く樣になつて來る若し動かない時は神主が一寸動かしてやると、あとは自然と動き出す。斯うなると既に神憑りしたといふのである。そこで問を出す『出て來た者は誰か』といふと、『狐だ』とか、蛇だとか、狸だとか云ふ。或人は何邊やつて貰つても天狗ばかり出るに悲觀して自殺したといふ事が、先達て新聞に出て居つた。神主は此時、『何のために憑いたのだ』と訊くと、『何處そこの森で脅かされたから』とか『幾代前の先祖に恨みがある』のと突拍子もない事をいふ。

■鎭魂歸神法は拙劣なる催眠術——知識階級も亦杢兵衛田吾作のみ■

そして之れから其憑き物を追出す事になるのであつて、各信者は眼前に此の事實を觀るのみならず、自分も亦實驗するので、恐怖敬虔の感に打たれるのであるが、焉んぞ知らん、斯の如きは御嶽行者や法華行者も能くする幼稚なる催眠術に過ぎない。催眠術の未だ進步しない頃は、物質的の力を借りて催眠狀態に陷らしめたのであつて、それには凝視法と稱して、光輝ある物などを凝視させて其視力を勞れしめる。或は單調の音樂とか時計の如きものを聞かして聽覺を刺激する法、或は身體を上下に撫て〳〵觸覺を刺激するのであるが、之は催眠術としては幼稚なる方法である。

然るに此の大本敎の鎭魂歸神法を見るに、石笛を吹き、單純な數を呼ばしめるなど、全く催眠術としては拙劣なる手段で、驚く可きものに非ずして哂ふ可きものに過ぎぬ。無我の境に入つて手が動く

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

のは、腹式呼吸法をなす人が身體が動き出すのと相違いない。狐だの狸だのといふのは、さういふ風に云ふ様に導くからて、催眠術に於て人格轉換をなすことは何でもない。楠正成だと云へば楠正成になるのである。

之を要するに大本教の以て天地の秘法とする鎮魂歸神法は、催眠術である。而も拙劣舊式なる催眠術である。曩に述べた醫師の井上爲五郎氏は『催眠と鎮魂の區別』といふものを書いて、私の攻撃に對して反駁してゐるが、偶々氏の催眠術に對する知識の淺薄を裏書したに過ぎぬ更にその彼等の守り本尊たるお筆先なるものは、妄想性痴呆の宗教的に現はれて濫書症によつて記されたる精神病者の産物に過ぎぬ。之に誰かゞ似せ筆をこしらへて勝手な年月日を附した活字を見せられて隨喜渇仰して居るのである。

最近神田男が大本教を觀て、『私は豫備知識がないから質問が出來なかつたが、山かんではない立派なものだ』と云れたといふ事が新聞に出てゐた。無論實否は分らぬが、之を實際とすると、神田男爵は此の短い言葉の中に自家撞着のあるのを氣がつかれぬらしい。既に豫備知識がないと云ひながら、何によつて山かんでないとか立派なものだとかいふ断案を下されたか、豫備知識なくしてさういふ結論をする資格はない。茲て考へなくてはならぬことは單に神田男爵の問題ではなく、氏の如き知名の人にして信者は澤山ある。海軍の中將であるとか、政治家法律家教育者文士といふ様な知識階級の人があつても、此の心理現象に對する研究なきものは、杢兵衛田吾作と何の選ぶ所なき者たるを知らねばならぬ。彼等は其専門に於て學者であつても、精神上の問題に於ては知識階級の名を潜する事を許さぬ。故に世人は誰某も信じてゐるからといふが如き、その肩書によつて妄りに信を置くの愚をしてはならぬ。（談）

◇米國と日本

圭　英　生

□

お隣りの米國ては、今度永年の苦心と努力が功を奏して、愈々婦人參政權問題が決定せられ、必然憲法の改正が行はれなければならないことになつた。即ち最近報道せられたテンネッシーに於ける可決てある。

□

最近に於て米國は、本年一月十六日を以て聯邦禁酒が憲法の一部となり、今また四十八州中三十六州は婦人參政權を認めたのてあるから、當然憲法の修正は行はれなければならない。即ち僅々二ヶ年間の短期日間に二回の憲法の修正を行ふことゝなつたのてある。

實に大斷行といふべきてはあるまいか、如斯は果斷に乏しい某國の政治家などには到底期待する事は可能ないが、婦人開放有終の美を米國が茲に作つて範を同じ婦人開放運動者に示した事は總て全世界婦人開放の前提てあつて、吾人も倶に之を慶ぶべきてある。が熱々我が國の現狀を見る時は甚だ羨望に堪えないのみか、實に思ゐ半ばに過ぐるものがある。

□

米國ては來る十一月二日に行はれる大統領の選擧に、千七百萬人の婦人は選擧權を行使することゝなつたのてある而して副大統領の一人は婦人から選ばれるてあらうと傳えられて居る。然るに我國ては南極と北極とよりも、太陽と月とよりも更らに距離がある。

治安警察法五條の撤廢さへも、中々出來さうて容易に決定しないてはないか況して參政權に至つては現代政治家は夢にも見て居らぬてあらう。否开麼事は流感以上に恐れて居るだらう。我國は矢張り一世紀以上遲れて居るのだ。然し濕潤な霖雨期許はない黴の消える秋も來よう。果して夫れは何時か？婦人の悉くが殊に所謂上流婦人がその貪れる深き眠りから醒めた時だ。—而かも猶且一世紀を要、るだらうか？甚だ前途は遼々たりと言ふべきだ。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

國民生活の根本義

廓清會評議員　鵜崎庚午郎

□宗教的信仰と敬虔の心

我が國に於て國民生活上缺乏してゐるものは、第一に敬虔なる精神である。福澤先生は偉大なる經世家であり、又尊敬すべき社會教育家であつて吾等の讃嘆すべき人物であることは云ふ迄もないが、唯一つ先生に就て感服の出來ぬことは、先生が福翁自傳に明かに書かれてある通り、先生が宗教を信ぜず全く無信仰であつたと云ふ事である。そして先生及び先生一派の人々の内には其の無信仰なることを世に誇らるゝ樣な風があると云ふことは、實に慨歎すべき事柄である。敬虔の思想なき國民であると云ふ一事は實に恐る可き事柄である。政府が危險思想取締の爲めに苦心して居らるゝが、露國の過激思想や其の他の危險思想が滔々と我が國に流れ來りつゝあるので、却々此大勢を抑ふることは出來ぬ。況してそれ等の思想が天を敬せず神を崇めぬ不信仰の精神から起つて來たことを思ふときに、實に寒心せざるを得ぬのである。

由來明治政府が宗教を輕蔑して來たことは爭はれぬ事實であつて、此方針が一層我が國民を無宗教に導かしめたのである。姉崎博士の著書に此事を述べてあるが、それを一寸引用するならば第一佛教に對し疎外して居つたこと、第二神道に對し曖昧であつたこと、第三基督教に對し敬遠主義を執り無頓著であつたことである。又我が教科書を調べて見るならば、神を崇むるとか天を敬するとか云ふ信仰的精神は全然取除いてあることである。故に宗教的信念であるとか、宗教的情操などは少しも養はれてゐないのである。是れは實に精神的大缺陷であるから、吾吾は敬神は日本國民本來の思想であることを體得して、之が宣傳をなさねばならぬ。

第二に缺乏してゐるものは謙遜の美德である。近來我が國の青年壯者が父母長老を尊敬せず又會社工場等に使用せらるゝ者が上長たる者の權威を恐れぬ刻下の誤れる個人主義は、徒らに己れの自由權利のみを主張してその義務責任を盡さぬのである。又ニイチエの如きは基督が謙遜と服從を教へられたことを罵詈して奴隸たるべきことを教ふるものだと申したが、是れは實に基督の偉大なる御精神を體得諒解し得ぬのである。又私は旅行して停車場に至るときにプラットホームに「みなさんがおりてからおのりください」の揭示札を見るのであるが、之を見る每にこんな當り前のことを特記しなければならぬ程日本人の謙讓的精神が幼稚であるかと歎息せざるを得ぬのである。そして御維新後既に五十有餘年を經過してゐる今日に於て尙ほ未だ此單純なる公德を自ら進んで守ること能はざるかを痛歎するのである。又先日大阪に參つた時、電車の中で一人の紳士體の人の足を大阪の土地の老人が踏んだので、其の紳

士は之を咎めた。その時に老人が云ふのに「此混雜ては仕方がないてはないか若しそれがいやなら電車を買切りにせよ」と放言した。私は此老人が紳士の足を踏みながら之を謝罪せずして放言することは、人間の禮儀として甚だ善くないと感じた。併し英國あたりては電車の中て足を踏まるゝとき、其の踏まれた人が却つて謝罪するとのことてある。公衆道德の進歩してゐる英國と我が國ては大變の違ひてある。

先日も或る學校の職員が寄つて晩餐會を開いたそうてあるが、校長が定刻になつても參らぬ。所が一人の教員が發議して云ふのに假令校長ても定刻に遲れたのてあるから、今日のデモクラシーの盛んな世の中てあるから食事を始めようてはないかと申して食べ始めたとのことてある。斯くの如く教育社會に於てすら上下の禮を守ることが、地を拂ふ様になつて仕舞つたことは實に慨歎すべき事柄てある。又孟子の言に「城郭の堅固なるものがあり兵器も充實し田畠も豐かてあつても、其の國民が無智無學にして禮節を知らざる俗民てあるならば、遂には其の國を亡ぼすに至るのである」との意味の句があるが慥かに眞理であると思ふ。

□自殺決心者と婦人同情會の事業

又現代に於ては拜金思想の甚しきことは實に驚く計りてある。故に過般の如き一朝經濟界の大變動ありたる爲めに折角成金となりたる者が、其の全財産を失ふときは周章狼狽爲す所を知らず、遂に自殺を遂ぐる者頻々たる有樣てある。是れは實に高尚なる品性を有せず確固たる信念なき爲めてある。換言せば黃金萬能の謳歌者てあるが爲めてある。城のぶ子と申す婦人が昨年九月神戸の一の谷附近に於て多くの自殺者を救ひたいと云ふ考へて、婦人同情會なるものを起し、今迄多くの人々が自殺した場所數ヶ所へ「一寸待て」と云ふ大きい札を出し、其の下へ「御相談するから婦人同情會へ來られよ」と記したる小札を下げたのてあるが、昨年九月より本年三月迄の間に於て其の自殺決心者が婦人同情會へ相談に參りたる二百三十八の內、年齡二十歳より二十五歳迄の者が最大多數てあるとのことて、即ち一生の花とも云ふべき時期の人が多いのてある。又更に驚くべきは右自殺決心者の過半數は相當の教育ある知識階級の人々てある一事てある。一身上の不安とか家族の不和とか、戀愛問題とか色々あるてはあらうが、兎に角貴重なる生命を斷つ所の死を決する迄に至らしむると云ふことは、人生の悲慘事てあり大事件てある。

斯く考へて見るならば、何うしても此國民生活を基督教化するより外に方法がないと思ふ。總てのものに打勝つ靈力を與ふることは基督教の根本義てある。それ吾を生みし者は父母てあり、吾を造りしものは神てある。神と國家が吾を保護して居る。才能も知識も、寶玉も娛樂も其の他の總てのものも、人を益すべき爲めに神より預りたる奉仕の器なりとの動機精神は實に尊重すべきものてある。此動機と精神に依りて立つにあらざれば、總ての者は到底價値なきものであり不可能事てあると云はねばならぬ。

□死せる道德と宗教的生命

現今學校に於て學生の一番嫌ふ學科は修身道德であるとは、實に驚くべく慨歎すべき事柄である。是れは畢竟信仰を重んぜざる敎育が齎したる惡結果である。故に若し吾人が爾等は神の宮なり實行の力は基督にありとの信念を有するならば、其の信念は吾人をして喜び勇んで修身道德に至らしむるのである。又世間には金を重んずるが、その重んずべき道を知らぬのである。故に一方から見るならば金は仇である。基督は此金の重んずべき眞意を敎へられたのである。即ち能く集め能く使ふべき道を敎へられたのである。

又現下憂ふべき問題は資本家と勞働者、富者と貧者との階級的鬪爭である。即ち勞働者や貧者は資本家や富者に反對し總て反抗的鬪爭氣分を以て滿ちてゐる。又資本家や富者は勞働者や貧者を輕蔑して虐遇を爲すのである。併しながら此階級的鬪爭の如きも眞に吾等は神より出てたる同胞兄弟なりとの基督敎の大思想に依つて、立派なる麗はしき調和の道を敎へらるゝのである。

先日私は或る小學校より講演を依頼せられ、基督敎の論理を話して呉れとのことであつたから、私は「衆の人を敬ひ兄弟を愛し神を畏れ王を尊ぶべし」と申す新約全書のペテロ前書二章十七節の言葉を題として、是れは予の平素愛讀する修養書の内にある一節であると前提し講演を致した處が、多くの聽講者は基督敎にも斯くの如き尊王の精神と同胞を敬愛する誠意を與ふる尊き眞理の言葉があるかと感嘆し、其の題にせられし句は何と云ふ書物にあるか其の書名を詳しく敎へて貰ひたいとのことでしたが、私は故意と新約全書のペテロ前書にあると云ふことを話さず宿題として置いたが、私の講演を多くの人々が感動して聽いて呉れたことは神の啓導であると信じて非常に愉快であつた。思ふて茲に至るならば我が國に於ける基督敎會の日曜學校が孜々として宗敎的信念と情操と知識を愛すべき少年少女に與へつゝあることは、非常に喜ぶべきことであり又將來の事を考へて誠に力強く感ずるのである。實に日曜學校時代に眞の宗敎的信念と情操と知識を養はしむることは、人を眞正なる敎育に導き高潔なる人格を築き上ぐべき大事業であると思ふ。要するに基督敎的大精神大思想を充分に吹き込むことに依つて、眞に我が國民生活を向上發展せしめ、高潔圓滿敬虔謙遜なる意義ある生涯を送らしむることが出來得ると確信するのである。

◇何處も同じ 秋の夕暮れ

◇箕面公園

大坂府下唯一の公園らしき公園たる箕面には現在料亭五六十軒もあり遊客は何れも大阪、池田より妓を携へ來遊するため料理代以外の儲け無きより當業者間には藝妓を置き花代よりも旨い汁を吸はんとの計畫ありしが十八日佐竹代議士は府廳を訪ひ藝妓百名を置くか夫が許されれば雇仲居組合を置き料理屋宿屋の客の招聘に應じたしと云ふ案の許可を願ひ出たところが

◇府の方針

では公園らしき公園は箕面だけだから風紀維持のため藝妓を置くことは許可しない又仲居組合の如く雇主に對して被傭者としての權利を擁護するやうな性質のものなれば認可をするけれど淫風を唆るが目的の組合には贊成が出來ぬと是又不許可の方針を告げたので同代議士等も絶望の姿であると云ふ。

◇東京でも

大塚に電車が開通してから西巢鴨一帶は人家漸く增加し、小料理屋も大分出來て相當に繁昌し居れるが、相應の料理屋とてはなく、宴會等を開く可き家なく萬事に不便なるより、同町の有志家は土地發展策として藝妓家町を設けんと極力奔走中なるが、勿論反對者も多く、實行困難なるが、一方に巢鴨監獄が町家稠密の間に介在し獄衣を着た囚人が通行するのは風敎上面白からずとありて移轉運動を爲す者あり新開の土地にて色々の問題誘起し居れり。

高女卒業生を家庭に

水津千雲

高等女學校卒業生が家庭の人となつて良妻たり賢母たらむとするに世間一般の人はこれに非難の聲を放つのを度々耳にして居るのである。これは學校其物を往昔の寺子屋や、指南所の如くに心得え、學校卒業と同時に完全に何事も仕上げて居ると考へるからでもあらうが、學校其物は決して其樣な意味の者ではない。教育の方針が啓發的で、注入的でない今日の教育である以上は多くの期待を卒業生に持たすといふことは酷な話である。

併し、高女卒業生も實は自分の經驗に依つて見ても餘りに實力が乏しいやうに思ふ。殊に困る事は虛榮心の勝れて居る事、不經濟な事を平氣でやること、放縱な點などは自分がいふ計りか、一般の高女卒業生を嫁に貰つた人達の口から兎や角いふのを聞くのである。何故かといふと精神的よりも物質的に傾いて居る、これを矯正するには女子教育家の深い考へを要する所であるが、自分の考へては高女を卒業したら直ちに善良な家庭に家事見習實習生として、一年若しくは二年の修業をさした方が良からうと思ふ。往時學校の無かつた時代は良家の子女もお屋敷奉行といふものをさしたのである。これは女中には相違ないが、今時の女中の如き給金取りが目的ではなかつた、從つて之れを使役するといへば語弊があるが、家事を手傳はす家庭では氣を付けねばならず良家の娘を預かるのであるから相當な取扱を注意して居ない譯には行かぬのである。高女出身者が必ず卒業後人の家庭に入いるとすれば女中といふ使傭人は無くもよい、有るにしても人數を少くすることが出來る。

學校側としては學校に於て學理實地と併せ學ばせてもそれが直ちに實生活に間に合ふやうには出來ない又出來ない筈のもので或る期間に多くの仕事を教へる上に啓發的教育であるからである。然し女子の任務は、職業よりも參政權を得るよりも第一番には人の妻として、又母としての任務が重且つ大であるといふ事が自覺がなくてはならぬ。さすれば人の家庭に入つて經濟衞生料理から育兒の方法、妻とし母としての總ての爲すべきもの爲すべからざるものを學校で修得した頭で修練すれば、非常に有益な效果の著しいものが見られると思ふ、學校としても出來得る丈け各々の自分生活の相應な家庭に連絡を取つて、卒業後一年若しくは二年位家事實習を爲さしめるやうにすれば相方の都合がよいのである。

往時の女中は家庭見習の意味が多かつたのであるから給金は安い、やつと年二圓の仕着位で濟んだ者だが現今は中々さうは行かぬ、工場に行つて働いて給金を取るか、女中に入つて給金を取るかといふのであるから傭ふ方に於いても至極困難である。故に高女卒業生が女中として家事練習手傳として、各家庭に入いるやうになれば、手傳さする人も女中を單に

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

使用人として取扱ひたくなり、相當な人格を認めて家庭用務に携はらしむるやうになつて、女子の權威も認められて來る。女子の職業を奬勵する人もあるが、職業ては家事の練習は出來ぬ、嫁に入つて直ちに困る事が起る。何うせ人の妻となるといふ者なら始めから家庭に入つて居れは嫁入してからの利益は多いのである。自分は女子敎育に就ては何等の經濟は有しないけれども、專門敎育に於て卒業生を其專門の場所に一年又は二年間研究見習の意味で就任せしむると、其卒業生が獨立し得る點に於いて多くの利益が認められる。殊に人を使役し得る方法又は使用人に對する同情等が甚だ違つて來るのである。

女子にしてもこの點は同じことで、人の子の妻として人の親の監督の下に其責務を完うするといふことは、この家事見習の方法によつて大いに利する處が多からうと思ふ。舅姑に仕ふるを、厭うて、可成夫婦差し向ひの家に嫁したいなどいふのが多いのは、他人の飯を食つた事のない我儘娘に多いといふことは、誰れも間違ひだと非難反駁する人はなからうと思はれる、有れば其人は常識の缺けた人てある。母となつた日には、舅姑の助けがあるために、何れ丈樂が出來るか知れないとは經驗ある婦人からよく聞く所である。

殊に何事によらず知識を得るのは短時間で出來得る事であるが、之れを實際に行ふといふことは、多少の長い時間がなくては熟練が出來ないものである。學校時代の記憶は家庭に入つて初めて皆實習となつて來るのであるから、應用の機を誤らないやうにすれば案外得る處は多いのである。

陸海軍の士官が、兵卒の上に立て之れを統一指揮して行くけれども、やはり一兵卒からの仕事を學び、且つ實習したものでなくては士官の地位に進まれないのと同じ事で、女中勤務をして初めて女中を監督し、女中任せに爲し得るのである、女中たるの務を爲さず女中を監督する妻女は必ずや缺陷が多いのである。今一般女中の仕事は一家の勞働に從事せしめるのであるが、之れが事實學識もなく、又人格も劣つて居るために、主人が何れ丈有形無形に損害を蒙つて居るか知れない程である。

我々一家庭には必ず三つの要素が入る第一は知識、第二物資、第三勞働で、この三者が揃なくては一家の生計は營まれない、之れが有機的に働いて初めて價値ある家庭が造られる。この家庭の集合して、有機的に活動するのが人間の社會となるである。其家庭の勞働的活動は、女中を假りて其一部を負擔せしめやうとするならば、相當の學識人格品性何れも等閑に附すべきものでない。殊更に女中敎育などを叫ばずとも高女卒業生が各家庭に家事見習として活動すべく自覺を持つやうになればよいので、女子敎育に携はる諸大家もこの邊も徹底的敎育を施す考なら、社會の改良も女子の改善もさほど至難な事はなからうと思ふ。但し高女以上の專門學校に進まうといふ女子にいふのではない。又新眞婦人として參政權の取得に沒頭する女子には、多少古臭い感があるかも知らぬが、社會の根柢に觸れる人の妻、人の母たらむものは、自分自らも靜かに考へたら決して無益はなからうかと思ふ。（寄書）

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

娼妓病院手記（十）

前某驅黴院看護婦　田口和子

八日（火曜日）

絲屋の君代さんが長崎方面の炭坑とやらに逃げて行つたといふ事に就ての噂を、今日事務所の人達の話に依つて聞く事が出來ました。何でも初めは警察署の附手紙を貰つて、また向ふの署とも聯絡を取つて隨分苦心をして探す事になつたさうです。用意が萬端とゝのつてから樓主だの周旋屋だの其の他のかかり人など一緒に出立して、向ふに行つて踏込むでいろ／＼調べて見たが、却々そのあり家が探當らなかつたさうです。最後に調べた某紡會績社では、その事務員の話で『成程こちらへ來た事は事實ですが、こちらでは娼妓とか藝妓とかいふやうな商賣をして居る者は絶對に斷はつて居るものですから、その方も始めはそんな商賣の者ではないといふ事で、私の處で働いて居りましたが、それが到頭判つて遂に惜氣もなく髮を切つて何處へか出て行つて了つたのです。さア何處へ行つた事やら其の行先の處は私共には鳥渡判りませんネ』といふ事で、居つたには居つたのですが、商買人だといふ事が何時しか知れたので體よく斷はられ、それで餘儀なく髮を切つて出て行つて了つたといふ事なんですが、疑ひの深い樓主達はそんな事では滿足が出來ずに、是非工場の内を見せて下さいと頼んださうです。けれども居ない者は居ないのだから、決して疑はずに歸つて下さいといふ事で、止むなく夫れては親元の財産を差押へやうではないかといふ相談が纏つて、それから引返して又候親元の處へ行つたさうです。もと／＼藝妓にでも賣らうとするやうな其の親元に財産のあるべき道理がないので、それも矢張前と同じやうに結局旅費損になつて了つたといふ事なんです。『强ゐて探せば探せない事はないが、あの工場の事務員が云つたやうに、若し髮毛がなかつたならば、折角引張つて來ても商買が出來ないのだから、據なく諦めて畢うより外に道がない』といふ事になつて、彼女は之等惡魔の手から逃れさる事が出來たのです。私は此話を聞いて何とも云へない、悲みと又た其の一面には或る期待して居たやうな歡びとが交々胸を往來するのを覺えました。靜に夜は更けて行く眞夜中、私は彼女の幸福の爲めに祈りを捧げたのであります。

九日（木曜日）

今朝出掛けに某新聞紙を開くと、原首相の内輪題として『一號の姿がどうの、二號の姿がどうの』といふ事が出て居るので私は少からず驚きました。仄かに聞いて居りましたところでは、原首相といふお方は餘程前に教會に行つて宣教師の說教を聞いた事があるそうで御座います。それが私の心に或る大きな期待を持たせ、今度内閣が變つたといふ事は、確に風教方面にも大なる革新が行はれるやうな事を豫期して居たのでありましたが、此の記事を見ますと最うそんな望みは得て求むる事が出來ないやうな如何にも絶望的な遣瀨ない心になつて了つたのです。私は一から十まで凡てを新聞記事に信據して居るものではありませんが、斯ういふ疑ひを抱くやうな記事が出るだけでも、何かそこには曰くがありさうに思はれてならないのです。

廿三日（月曜日）

春から夏にかけて、凡てのものはお互に自分自身が出來得る限りの活動を續けた。草も木も、鳥も魚も、乃至は蟲類の如きものでも、僅五六ヶ月とは云へ、壽命の短い或るものに取つては、それが隨分永い働き榮えのある期間であつたかも知れない。さうした活動の結果、そこに實ばれた果實は尊い聖いものでなければならない。

斯うした秋が環つて來ても、同じやうな身の上に我身をかこつ多くの姉妹達は、何事も他の物象には係はりがないといふやうな態度で、其の日／＼を送つて居るのであります。私は隨分長い間、この憐れな多くの姉妹達の中に入つて、慰安を與へたり又は私自身にも計り知る事の出來ない、深い尊い經驗と云つたやうなものを味はふ事が出來たりしたけれども、それ等はみな此の社會に於ける特有なものゝみであつて、一度び廣い社會、言葉を換へて云へば一般社會に出づれば、そこには嘗て此の社會で正當と認められ、普瓦と見做されて居る凡ての事が、頭から非認されて了ふやうなもの許りである。ですから同じ慰安にしても、その慰安は普通の社會の人々に對するそれとは餘程その趣きが異つて居りますし、又た經驗と云つても他の社會には、殆ど何にも役に立たないやうな經驗であらうと思はれるのです。

姉妹達が觀る男性のすべて。――それば

單なる一個の男性として赤裸々に觀抜いて居るやうに、彼等の多くは推察して斷案を下して居りますけれども、それが果して其の行を突留めた所謂その眞髓をれらつて居るものでありますか、何うかは更に判らない事に屬すると思ふのであります。何故かなれば多くの姉妹達は、男性を見るに就て其の標準ともなるべき對照物といふものを持つて居られないからです。何も知らない儘に東西の辨へのある位の時分から、樓主の不倫な教育を受け、朋輩同士の腐爛し切つた浮世に對する反抗と絶望と怨恨との心情から感化されて行く其の日常の生活と、更に毎夜興を漁る貞操觀念などといふ事は毛頭もない多くの男を相手に、生を貪つて居るやうな生活狀態にあつて、それて眞の男の心情といふものを見えるのであるならば、それは實に偏見的な觀察であつて正鵠を失つたものでなければなりません。さういふ間違つた見解が、さも正鵠な見方でもありそうに得意になつて、語り合ふ男の心情の奈何といふやうな事を耳にしながら、私は毎日々々其の日を送つて居るのであります。ですから私としては彼等の多くが云ふすべてを信ずる事は出來ないんですが、その話とその事情とを通じて、その奥に流れる或るものを見當てたいと冀つて居るのです。

姉妹達に取ては何んでもないやうな輕々しい事があつても、私の心に取つてはそれがどれ丈け多大な見逃すべからざるものであるかのやうに考へられたり。又た彼等の多くが左も重大事件でもあるかのやうに騷立てたりする事が、通り一偏の出來事にしか考へられないやうなものであつたりする事が間々あるのです。さういふいろ／＼な經驗を積んでゆく私の身上に、何だか一種云ふに云はれない爛れて行くやうな又た落付いては居られないやうな氣がする事も、今迄に幾度あつたか知れなかつたのです。

今も私はそんな取りとめもない考へに、ボンヤリとして晝の眩ゆき空を眺めて打過ぎた遠い處でも追想するやうに窓に凭り掛つて居るのです。寢靜つた病院の夜、そこには一種云ふに云はれない嫌な匂ひが漾つてゐて、ムッと鼻に衝くやうな空氣が漲渡つて居るやうな部屋から、安らかなれびきが漏れて來るのです。社會の犧牲者ともいふ可き多くの姉妹達が、身を全く別物にして男の意の儘に動かされ、海の中の小舟のやうに的もない其の日／＼を波のまに／＼送つて居る其の生活、强ひて目的といふ可きものを見出さうといふのであれば、それはたゞ年期あけといふ一事のみであつて、それも勤め中に病氣なり又は他の災なりに依つて期待してゐる年期内に出られるか何うか、殆と豫測し難い日常の生活を餘儀せられてゐる悲しい身の上に置かれて居る姉妹達が、其の疲れた然も病にしひたげられた身を横へて、スヤ／＼と眠に就いて居る此の病院――私は或る一人の姉妹の枕邊にあつて、氷枕の中の氷の解ける間に斯うした渦卷のやうな、混沌とした統一のない考へて筆を取つて居るのです。

また來る日も、さうして又た過ぎて行く日も、入り交り立交りいろ／＼の性格と心情とを持つた多くの姉妹達が病院に出入して、公娼制度の存在する間は永久に此の病院は賑つて居る事でせうと思ひますと、私は一種云ふ可からざる嫌惡の情に壓せられて、茲に擬乎としては居られないやうな氣がしてならないのです。

廿五日(水曜日)

二三日前から身體の樣子が妙だと思つて居りますと、何だか風邪を引いたやうな樣子で、藥を呑むで早く休まふと思つて居ります處へ、事務長よりの電話で『今夜は署長樣もお閑散だそうですから、署の官舍なり又は私の宅なり、何方でもよろしう御座いますから都合の宜い方へ是非御出を願いたいのですが』といふてあつたので、私は先日の件に就て何か話があるのではないかといふ事を知り得たのです。早速城山倶樂部の事務長の宅へ車を走らせて、玄關に立ちますと最う其の奥の座敷には署長樣と何か笑ひ乍ら話しをして居る樣子が洩れて來るのでした。型の如き挨拶が濟むと種々と前に私から願つて置いた或る一人の藝妓の爲めに話されて、結局私の方の有利な事に歸着したのであります。そして其の話の序に署長さんは『イヤ兎に角何と云つても、現在の紳士だとか、或は紳商だとか、或は成金だとかいふやうな輩は、一々詳しく其身元を調べたら、それこそ眞直ぐに頭を上げる事が出來ないやうな人間が多いのだからネ。あゝいふ處に出入する輩には道德といふやうな觀念は、藥にしたくともないのだから困つたもんさネ。實際半玉といふもの抔は、未だ肩揚の取れない十三四位の生娘を金さへ持つて來れば、金の爲めに關係を結ばせるのだから全く耐つたものではないのですナ。併し男も罪も多いだらうが、さりとて女の方にも罪はない事もない譯だネ。』

『さうしますと、男も女も共に惡いといふ事になつてつまりお互に惡い事を平氣でやつて居るといふ事になるのですネ。』

三人は笑つた。其の笑ひの中には一種の淋さを持つて居た。

『ウム、確にさうだ。矢張り御互が惡いからいろ／＼其處に紆緯が起るんだから、何うも困つたものだ』お互どこまでもお互が惡いと信じて、其の裏にさう惡くするやうな原因を發見せやうともしない、發見してもそれは到底人力を以つてはとても奈何ともする事の出來ないものであるかのやうにお考へになつてゐる署長さんに私は

『ですから結局、公娼制度といふものが惡いのでせうと思ふのです。若し此の制度さへなかつたなら、女も男も共に惡くなるやうな、つまり惡いやうな事をしたいにもする事が出來ない譯ですから。自然さういふ事が社會から消失せて行く筈でありませうと思ひます』

署長さんは妙なものでも見せ付けられたやうな眼差して、いつ迄も天井の方を眼眸て居たのです。

お斷り

過日集金郵便で維持會員諸氏の中には六ヶ月分として一年分相當の會費を頂戴した向もありましたが錯誤に付帳簿は一年分として整理致してありますが念の爲め御諒承を得度御詫を兼ね茲に訂正致します(會計係)

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

女子服装の改良

山根菊子

先日一人の青年が訪れて參りまして、いろいろの話を交換いたしました。その中で妾の頭に尤も深く印象されたものゝ二三を申上げて見度いと存じます。青年は左のやうな事を語つたのです。

◎……可驚青年の話

『今日僕が或る家に話して居ると、其の家の前を一人の男の子を連れた夫婦連れが散歩にでも出た歸りらしく、如何にも樂し氣な樣子で通つたが、それは實に理想的な夫婦でした、僕はその時、ふと僕も早く彼麼可愛いらしい子供が欲しいなあと思ひました』云々と

そして彼の男は更らに次の樣な事を語りました。

『先き頃或る所で、一人の男が自動車に乘るところを見ました。其の男は先づ第一に自分が乘つて、次に二人の半玉を自分の兩脇に坐らせ、終りに一人の口唇を紅に染めた西洋婦人を乘せました　、その西洋婦人といふのは何うも賣笑婦らしかつたんですよ』と。

猶ほも彼の男は話頭を轉じて次の如うな驚くべき事を語り續けたのでした。

『女が赤い腰巻をしてゐるのを見ると、腹が立つ男があるさうです。それは性的衝動の反抗心理とでも申しませうか、其處に或る一種の深い男子的な何物かの存するところでせう』と。

最後に彼の男は、稍や亢奮した面持ちで『七歳になる一人の可愛らしい男の子を殘して、妻に死なれた或る男の恐るべき亂倫な物語を致したのです。

『後妻も娶らぬ彼の男は、其の子を家に殘して何時も待合にばかり泊つて居ります。そして可愛い子供は父の行く衞をよく知つて居て、他の人には默まつて父の四六時中陣取つて居る待合に出掛けて行つて『お父うさんは！』と尋ねるのださうです。待合の女中も藏らかせて置かうとしますが、開けばこそ、中々その子供は承知をしないので終ひには女中も閉口して、父の部屋へ連れて行くのださうですが、すると父なる人は自分と藝者と子供の三人で一つの牀に寢て仕舞ふのださうです』

◎……與ふる悪感化

今年二十五歳になる此の青年(對話者)は、某大學の理工科を卒業すべく、目下その準備中の人で御座いますが、日常眼に觸れる之れ等の事實が如何に強烈に、その燃ゆるが如き青春の彼の胸裡に印象を與へてゆくことであらうかを想ふとき、妾は識らず慄然悚然膚に粟を生じ驚きの眸を輝かさずには居られないので御座います。

妾共の氣付かないうちに妾どもの日常生活を周圍の多くの人々は、種々さまざまな眼で見て居るので御座いませう。自分では少こしも氣付かず、知らずしてしかもそのうちに人の心を覺ませたり、人を惡化せしめるやうな場合も御座いませう。僅かな事のやうでも服裝に依つて、人の心に邪慾の念を起させたり、自分の不身持ちの爲めに　頑是ない淨々無垢な可愛い一人兒を精神的に未來恐るべき罪の兒とする方も在るのでございます。

◎……服裝の改善

一體妾共日本婦人の服裝は、怎うも立居振舞には至つて不便でございます。のみならず、男子の方に之れに由つて恐るべき感情を起させる事は非常なものであるといふことは、度々男子の方から聞かされることでございます。實際に女の身の妾どもでさへも、眼を掩ふ程は徴發的な服裝をして、さも得意さうに往來してゐる方をよく見かけます。

服裝の改良に就いては、既に色々と、先輩の御婦人方が研究されつゝありますが、妾の考えては中年以上の婦人がアンドン袴を穿くのも、餘り感心出來ませんがと申して餘まり變つた、日本服の化け物のやうなものも一向に趣味がございません。唯だ採り度いのは西洋服でございます。

◎……不便な周圍

けれども、此れはまた餘まりに大變な困難が根強く着いて居りまして、易すくと之れにかはる事が出來ないのは、皆樣も疾く御承知の通りでございます。

先づ第一に困るのは、他家を訪問いたしました場合度々靴を脱いだり履いたりすることは、非常な不便加之座布團に坐ることは、美の點に於ても不便な點から言つても甚だ不都合極まることでございます。

或る婦人は折角洋服にされましたが絹の靴足袋に穴のあくのには誠に困ると申して居られます。西洋の樣に靴をはいたまゝ何處へでもゆかれる樣にしたならば如何に便利であらうかと思ひます。

さうするには家を西洋建てにする必要が起つてまゐりますが、しかしあのおしるこ。。。をひつくりかへしたやうな道路を歩て來たまゝの靴で上にあがられましたなら、とても家主は默つて見てゐられないと思ひます、後の掃除も大變な手數ですがその場合に互に不潔を忍んで用談する時の心持ちは何んとも不愉快で氣まづい思をしなければならぬかと思はれます。

先づ第一に道路を根本的に改修してその慮を少しも除かれるやうにしたいものだと思ひます。從つて家屋も段々西洋建てにして服裝も洋服にして一家の夫婦子供に今日の二重生活の不自由に呟くこともなく、外出も自由に出來、風が吹こうが雨が降らうが天候の如何位には何等危惧することもなく、思ふがまゝに活動出來る樣にしたいものでございます。

女でさへ身慄するやうなあの服裝を、一時も速く改めてさうした凡てに於てもつと理想的なものにしたいものでございます。

過日目白の女子大學に於てされた來賓の一米婦人の演說に依れば『何卒ぞ日本の女子は服裝だけは日本の服を着て下さい、西洋の服などは決して着ない樣に願ひます』と申されましたさうでございます。それで婦人が其の理由とされる處は、洋裝は日本人には不格好

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

であるからだらうてございます。

◇……女子と洋裝

然し私はその米國婦人の意見を其の儘に受け容れる譯には參りません、成る程現在の日本婦人の洋裝の格好は彼等西洋人から見れば恰度鄙會の女子が僻村育ちの女を見ると同じやうに、若しくはそれ以上に滑稽に見えませう、然しそれは無理もない事ですが、けれどもこの永い間の慣習から段々遠ざかつて、それに適する生活をするやうになれば、何時しか似合ふやうになるのは大して困難なことでもあるまいと信じます。汽車、汽船、飛行機、自動車や電話電信といふ諸種の文明機關はもとより學術、文藝果ては宗教に至るまで一つとして西洋から輸入してゐないものゝない我國が、只だ一つ女子の服裝のみ之れを輸入しないで不便を忍ぶといふことは、矛盾ではございますまいか。

彼の米賓婦人が歸國するにのぞんで日本の女子の手に依つて爲されつゝある事業を觀察しなかつたのは誠に殘念であつた」と申された事は、確かに御最もの事であつて、また妾共日本婦人といたしましては大いに其の言に從つても顧なければならないところがあらうがと存じます。それには何うしても妾共は今日の生活を改革せねばなりません、現在のまゝでは只だ心のみ焦躁つて、手足を縛られてゐる樣なものでございます。私共日本婦人とても西洋婦人の如くに輕快に活動出來るやう、衣服から住宅から道路から凡ての慣習から完く解放さへされたなら決して西洋婦人に劣るものではないと固く信じます。

◇……改良の先驅者

今度山脇女學校で生徒に洋服を著ける事を校則とされた事などはこの生活改造の意味からして大に喜ぶ可きことゝ存じます。希はくば全國の諸學校が之に習ふ事を私は欲します、そして遂てはそれが日本全國に普及されて一般婦人にまで及ぶ事を祈るのでございます。

そして、妾共日本婦人の服裝を根本から改良いたしまして、今までのやうな知らず〳〵のうちに異性に與へて居た惡印象を除き度いと存じます。またそれでこそ除き得ると考へるのでございます。

實際に、今までの妾どもの服裝は餘りに露骨であり餘まりに非實用的でございました。しかも自らは非常な不便を動作のうちに感じつゝもそれを耐え忍び他面には異性者に徴發的であつて善からぬ印象を與へて、延いては不善の動機を與へるといふ。斯う考へてまゐりますれば妾どもは如何にもして此の狀態を切り拔けて局面の展開を計らねばならないのでございます。が矢張りそれには、萬難を排して舊い因習を打破し服裝の改良を謀ることが、より緊急なことであると思ふので御座います。

此の意味に於きまして、山脇女學校の新らしい校則は、妾共は之れを双手を擧げて歡迎致さればならないので御座います。

◇……風紀の廓清

甚だ前後致しますが、妾は服裝のことに就いて先づ以上の如うに意見を述べさせて頂きました。然し決してそれは前後いたしたのではなく、服裝の善惡が彼の青年の受けた印象の根本であるやうに考へられるのであり、實際に多くの男子の方の話を綜合して考へて見ましても此れは妾ども女性の一日も看過することの出來ない大切な事柄であると信ずるのでございます。

若し、妾共日本婦人一般の服裝が完全に近いものに改良いたされる時機がまゐりましたなら、服裝の爲めに徴發的意識を生じた人々の惡印象を去つて幾分でも此の人々を救ひ出すことが可能き、それが爲めに混濁して居た社會の一部分を淨めることが出來れば結構なことであらうかと思ふのでございます。

勿論、服裝に依つて性慾を徴發されるやうな人は病的な人でもありませうが、斯くの如き憐れな氣の毒な人を救ふことが出來、可憐な孤兒を知らず〳〵の間に泥濘の社會に導きつゝあるやうな家庭悲劇を減少出來得ることゝ思ふのでございます。

◇……藝者と風紀

妾達婦人の服裝改良に依つて、確かに社會の墮落を或る程度までは救ひ得ると信じて居る妾は、更らに藝者などのやうな、より反風紀的なより人を墮落の境地に陷れるやうな風俗の持ち主は、何うしても此の社會から葬られねばならないと信ずるので御座います。

幾多の悲劇も、多くの罪惡も彼等藝者がその源となつて起る場合が、妾達の服裝の爲めに徴發せられて墮落するものゝあるといふ程度よりも、更らにより多いだらうと思ふので御座います。それには矢張婦人の覺醒が何よりも急を要する事でございませう。

夫れは素より男子を鞭撻してゆくことも大切なことに相異ありませんが、婦人が醒めて居らなければ徹底も出來ないことで、男子の命は唯々として聽いて居るやうなその是非の判斷も爲し得ないやうな婦人の狀態では男子を喚び起すことは不可能な事でございます。

て、先づ妾共は自ら醒め、同志と倶に社會の廓清を謀らればならないと存じます。妾が玆に一青年の對話を載せたのは決して無意義ではなからうかと存じます。さうして恁ういふ青年は强ち彼れ一人ではあるまいと想ふので御座います。（T）

大正九年九月十日印刷（毎月一回十日發行）
大正九年九月十日發行（一部定價金二十錢）

編輯兼發行人　神田區今川小路二丁目三番地　伊藤秀吉

印刷人　小石川區大塚窪町一番地　久保民生

印刷所　本郷區眞砂町三十六番地　日東印刷株式會社

發行所　神田區表猿樂町十番地　廓清會發行所　電話神田四〇二〇番　振替東京二七〇七二番

●廣告主へ御用の際は必ず雑誌「廓清」による旨御申添を乞ふ●

THE NANKOIN HOSPITAL

Chigasaki, Kozagori, Sagami. (Near Oiso)

UNDER THE MANAGEMENT OF

Dr. K. TAKATA

Within a few minutes from the Chigasaki Raiway Station

Healthiest Situation

FACING THE SAGAMI BAY

FINE SCENERY

Telephone: Chigasaki No. 2.

東洋内科醫院

副長（新任） 醫學士 岡本金雄

診察毎朝及毎夕 但祭日及日曜の他

院長 診察、月、木、金午前及木午後六時

林、峯間兩副長は目下當院に在勤

東京三番町三十番地（市ケ谷見附内）

電話九段｛六二番 六三番

南湖院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番

相模國茅ケ崎海濱（從停車場半里）

河野、高橋兩副長は目下當院に在勤

院長診察土曜日午後 入院診後應需

診察毎日午後 但祭日及日曜の他

◎募集——看護婦志願者及雜事婦

（大正七年十一月一日第三種郵便物認可）（毎月一回十日發行）
大正九年九月十日印刷納本

定價一冊金二十錢

大賣捌所　東京堂、東海堂、上田屋、警醒社、北隆館、耳明堂、

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY